

福島第二原子力発電所1号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前			補正後			理由
7	四 第4－2表 廃止措置対象 施設（1／5）	第4－2表 廃止措置対象施設（1／5）			第4－2表 廃止措置対象施設（1／5）			・廃止措置対象施設の変更（使用済燃料輸送容器の追加）
		施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	
		原子炉本体	炉心	炉心支持構造物	原子炉本体	炉心	炉心支持構造物	
				ジェット・ポンプ			ジェット・ポンプ	
				気水分離器			気水分離器	
				蒸気乾燥器			蒸気乾燥器	
			燃料体	燃料集合体		燃料体	燃料集合体	
			原子炉容器	原子炉容器（原子炉圧力容器）		原子炉容器	原子炉容器（原子炉圧力容器）	
			放射線遮蔽体	原子炉圧力容器周囲のコンクリート壁 原子炉格納容器外周の壁		放射線遮蔽体	原子炉圧力容器周囲のコンクリート壁 原子炉格納容器外周の壁	
		核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設	核燃料物質取 扱設備	燃料取替機※ ¹	核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設	核燃料物質取 扱設備	燃料取替機※ ¹	
				原子炉建家クレーン※ ¹			原子炉建家クレーン※ ¹	
				キャスク除染装置※ ¹			キャスク除染装置※ ¹	
			核燃料物質貯 蔵設備	新燃料貯蔵施設			使用済燃料輸送容器※ ¹	
				使用済燃料貯蔵設備※ ¹			新燃料貯蔵施設	
				復水貯蔵タンク			使用済燃料貯蔵設備※ ¹	
		原子炉冷却系 統施設	1次冷却設備	冷却材再循環系	原子炉冷却系 統施設	1次冷却設備	冷却材再循環系	
				原子炉冷却材浄化系			原子炉冷却材浄化系	
				主蒸気系			主蒸気系	
				タービン			タービン	
				復水器			復水器	
				復水ポンプ			復水ポンプ	
				復水浄化系			復水浄化系	
				給水加熱器			給水加熱器	
				給水ポンプ			給水ポンプ	
				タービン・バイパス系			タービン・バイパス系	
				循環水系			循環水系	
			非常用冷却設 備	高圧炉心スプレイ系		非常用冷却設 備	高圧炉心スプレイ系	
				低圧炉心スプレイ系			低圧炉心スプレイ系	
				低圧注水系			低圧注水系	
				自動減圧系			自動減圧系	
			その他の主要 な事項	残留熱除去系		その他の主要 な事項	残留熱除去系	
				原子炉隔離時冷却系			原子炉隔離時冷却系	

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前			補正後			理由
9	四 第 4－2 表 廃止措置対象 施設（3／5）	第 4－2 表 廃止措置対象施設（3／5）			第 4－2 表 廃止措置対象施設（3／5）			
		施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	
		放射性廃棄物 の廃棄施設	気体廃棄物の 廃棄設備	空気抽出器	放射性廃棄物 の廃棄施設	気体廃棄物の 廃棄設備	空気抽出器	
				再結合器			再結合器	
				減衰管			減衰管	
				活性炭式希ガス・ホールドアップ装置			活性炭式希ガス・ホールドアップ装置	
				排気筒			排気筒	
			液体廃棄物の 廃棄設備	低電導度廃液系※ ⁴		液体廃棄物の 廃棄設備	低電導度廃液系※ ⁴	
				高電導度廃液系※ ⁴			高電導度廃液系※ ⁴	
				洗濯廃液系※ ¹			洗濯廃液系※ ¹	
				除染廃液系※ ⁴			除染廃液系※ ⁴	
				シャワ・ドレン系※ ³			シャワ・ドレン系※ ³	
				油ドレン系※ ⁴			油ドレン系※ ⁴	
			固体廃棄物の 廃棄設備	使用済樹脂槽※ ¹		固体廃棄物の 廃棄設備	使用済樹脂槽※ ¹	
				原子炉冷却材浄化系沈降分離槽※ ¹			原子炉冷却材浄化系沈降分離槽※ ¹	
				原子炉冷却材浄化系受けタンク			原子炉冷却材浄化系受けタンク	
				燃料プール冷却浄化系受けタンク			燃料プール冷却浄化系受けタンク	
				復水浄化系沈降分離槽※ ²			復水浄化系沈降分離槽※ ²	
				復水浄化系受けタンク			復水浄化系受けタンク	
				濃縮廃液タンク※ ¹			濃縮廃液タンク※ ¹	
				濃縮洗濯廃液タンク※ ¹			濃縮洗濯廃液タンク※ ¹	
				サイトバンカ※ ¹			サイトバンカ※ ¹	
				固化装置※ ¹			固化装置※ ¹	
				減容装置※ ¹			減容装置※ ¹	
				減容装置			減容装置	
				乾燥装置※ ¹			乾燥装置※ ¹	
				雑固体廃棄物焼却設備※ ¹			雑固体廃棄物焼却設備※ ¹	
				固体廃棄物貯蔵庫※ ¹			固体廃棄物移送容器※ ¹	・廃止措置対象施設の変更（固体廃棄物移送容器の追加）
							固体廃棄物貯蔵庫※ ¹	

頁	補正箇所	補正前	理由
13	四 第 4－2 図 管理区域全体 図	<p>第 4－2 図 管理区域全体図</p>	・図の明瞭化

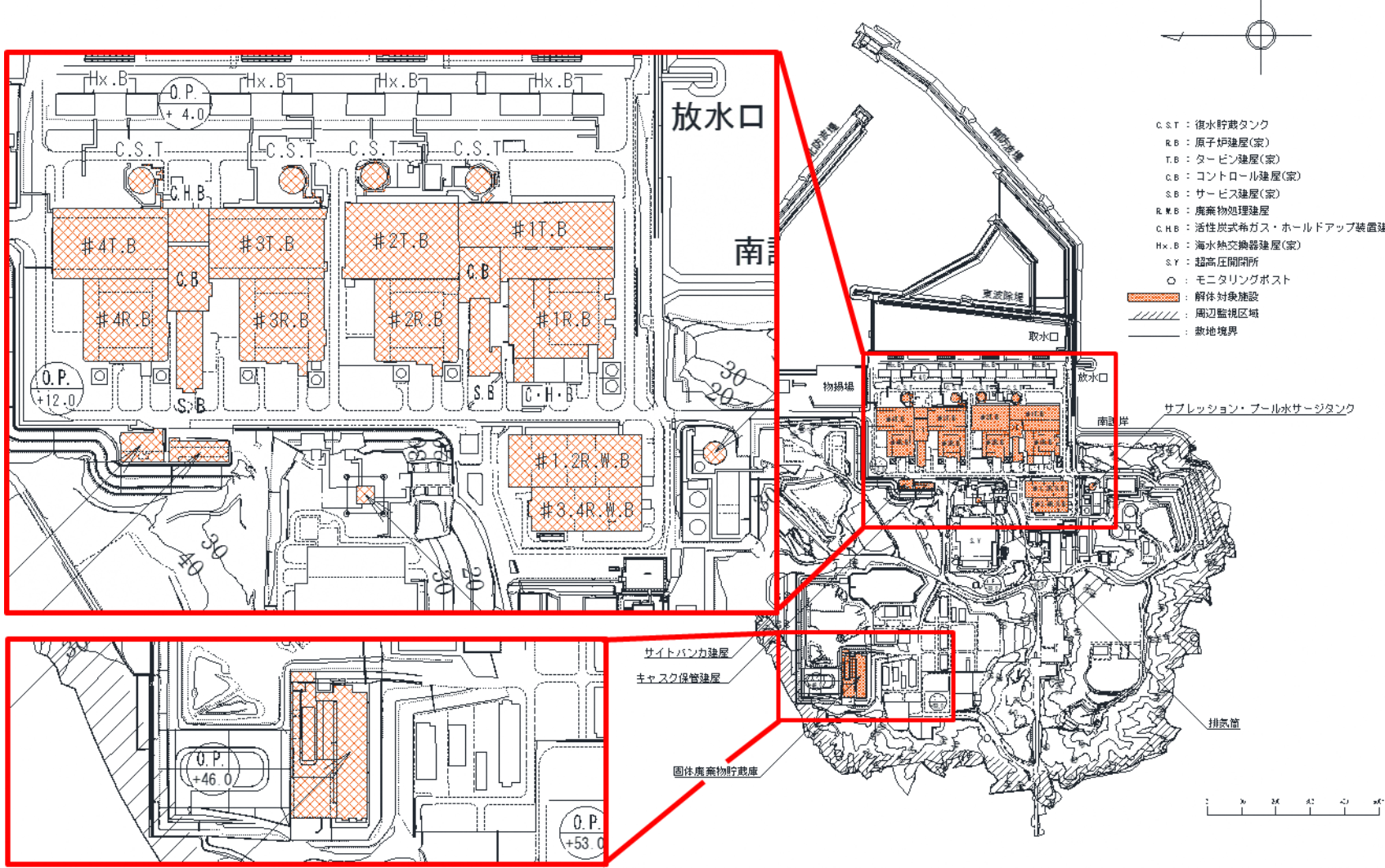
頁	補正箇所	補正後	理由
13	四 第 4－2 図 管理区域全体 図	<p>第 4－2 図 管理区域全体図</p>	・図の明瞭化

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前			補正後			理由
24	五 第 5 － 1 表 解体対象施設（1／5）	第 5 － 1 表 解体対象施設（1／5）			第 5 － 1 表 解体対象施設（1／5）			・解体対象施設の変更 （使用済燃料輸送容器 の追加）
		施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	
		原子炉本体	炉心	炉心支持構造物	原子炉本体	炉心	炉心支持構造物	
				ジェット・ポンプ			ジェット・ポンプ	
				気水分離器			気水分離器	
				蒸気乾燥器			蒸気乾燥器	
			燃料体	燃料集合体		燃料体	燃料集合体	
			原子炉容器	原子炉容器（原子炉圧力容器）		原子炉容器	原子炉容器（原子炉圧力容器）	
			放射線遮蔽体	原子炉圧力容器周囲のコンクリート壁		放射線遮蔽体	原子炉圧力容器周囲のコンクリート壁	
				原子炉格納容器外周の壁			原子炉格納容器外周の壁	
		核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設	核燃料物質取 扱設備	燃料取替機※ ¹	核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設	核燃料物質取 扱設備	燃料取替機※ ¹	
				原子炉建家クレーン※ ¹			原子炉建家クレーン※ ¹	
				キャスク除染装置※ ¹			キャスク除染装置※ ¹	
			核燃料物質貯 蔵設備	新燃料貯蔵施設		核燃料物質貯 蔵設備	<u>使用済燃料輸送容器※¹</u>	
				使用済燃料貯蔵設備※ ¹			新燃料貯蔵施設	
				復水貯蔵タンク			使用済燃料貯蔵設備※ ¹	
		原子炉冷却系 統施設	1 次冷却設備	冷却材再循環系	原子炉冷却系 統施設	1 次冷却設備	冷却材再循環系	
				原子炉冷却材浄化系			原子炉冷却材浄化系	
				主蒸気系			主蒸気系	
				タービン			タービン	
				復水器			復水器	
				復水ポンプ			復水ポンプ	
				復水浄化系			復水浄化系	
				給水加熱器			給水加熱器	
				給水ポンプ			給水ポンプ	
				タービン・バイパス系			タービン・バイパス系	
				循環水系			循環水系	
			非 常 用 冷 却 設 備	高圧炉心スプレイ系		非 常 用 冷 却 設 備	高圧炉心スプレイ系	
				低圧炉心スプレイ系			低圧炉心スプレイ系	
				低圧注水系			低圧注水系	
				自動減圧系			自動減圧系	
			そ の 他 の 主 要 な 事 項	残留熱除去系		そ の 他 の 主 要 な 事 項	残留熱除去系	
				原子炉隔離時冷却系			原子炉隔離時冷却系	

- ・解体対象施設の変更
(固体廃棄物移送容器
の追加)

頁	補正箇所	補正前	理由
30	五 第 5－1 図 解体対象施設 の配置	<p>北防波堤</p> <p>南防波堤</p> <p>東波除堤</p> <p>取水口</p> <p>放水口</p> <p>物揚場</p> <p>サブプレッション・プール水貯留用水タンク</p> <p>サブプレッション・プール水サージタンク</p> <p>南護岸</p> <p>純水タンク</p> <p>水処理建屋</p> <p>ろ過水タンク</p> <p>免震重要棟</p> <p>事務建屋</p> <p>排気筒</p> <p>サイトバンカ建屋</p> <p>キャスク保管建屋</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫</p> <p>○ : モニタリングポスト</p> <p>■ : 解体対象施設</p> <p>/// : 周辺監視区域</p> <p>..... : 敷地境界</p> <p>0 100 200 300 400 500m</p> <p>第 5－1 図 解体対象施設の配置</p>	・図の明瞭化

頁	補正箇所	補正後	理由
30	五 第 5－1 図 解体対象施設 の配置	 <p>第 5－1 図 解体対象施設の配置</p>	・図の明瞭化

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
32	六 1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方	1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方 (2)核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設については，使用済燃料が 1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から搬出が完了するまでの期間，燃料取扱機能，臨界防止機能，燃料落下防止機能，冷却浄化等の機能及び性能を維持管理する。また，新燃料が 1 号炉原子炉建家内の核燃料物質貯蔵設備から搬出が完了するまでの期間，燃料取扱機能，臨界防止機能，燃料落下防止機能及び性能を維持管理 する。	1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方 (2)核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設については，使用済燃料等が 1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から搬出が完了するまでの期間，燃料取扱機能，臨界防止機能，燃料落下防止機能，冷却浄化等の機能及び性能を維持管理する。また，新燃料が 1 号炉原子炉建家内の核燃料物質貯蔵設備から搬出が完了するまでの期間，燃料取扱機能，臨界防止機能，燃料落下防止機能及び性能を維持管理し， <u>使用済燃料の構内輸送が完了するまでの期間，使用済燃料を適切に構内輸送するため，臨界防止機能，除熱機能，密封機能，放射線遮蔽機能及び性能を維持管理</u> する。	・ 記載の適正化（使用済燃料貯蔵設備の性能維持期間及び機能を見直し）

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
32 33	六 1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方（つづき）	<p>1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方</p> <p>(3) 放射性廃棄物の廃棄施設については、放射性廃棄物の処理が完了するまでの期間、放射性気体廃棄物、<u>放射性液体廃棄物</u>及び<u>放射性固体廃棄物</u>を適切に処理<u>処分</u>するため、<u>処理機能及び性能を維持管理</u>する。また、<u>貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまでの期間、放射性固体廃棄物を適切に貯蔵するため、貯蔵機能及び性能を維持管理</u>する。</p>	<p>1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方</p> <p>(3) 放射性廃棄物の廃棄施設については、放射性廃棄物の処理が完了するまでの期間、放射性気体廃棄物<u>及び放射性液体廃棄物</u>を適切に処理 <u>するため、<u>放射性廃棄物</u>処理機能及び性能を維持管理</u>する。また、<u>放射性固体廃棄物の処理が完了する又は</u>貯蔵している放射性固体廃棄物の<u>取出し若しくは</u>廃棄が完了するまでの期間、放射性固体廃棄物を適切に<u>処理又は</u>貯蔵するため、<u>放射性廃棄物処理機能、放射性廃棄物貯蔵機能及び性能を維持管理し、使用済制御棒等の構内輸送が完了するまでの期間、使用済制御棒等を適切に構内輸送するため、放射線遮蔽機能及び性能を維持管理</u>する。</p>	<p>・記載の適正化（放射性廃棄物の廃棄施設の性能維持期間、機能及び性能を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
33	六 1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方（つづき）	1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方 (6) 非常用電源設備については，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまでの期間，発電用原子炉施設の安全確保上必要な場合に適切な容量を確保し，それぞれの設備に要求される電源供給機能及び性能を維持管理する。	1. 性能維持施設を維持管理するための基本的な考え方 (6) 非常用電源設備については，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している使用済燃料の搬出完了又は各建家の各エリアに設置されている設備の供用終了までの期間，発電用原子炉施設の安全確保上必要な場合に適切な容量を確保し，それぞれの設備に要求される電源供給機能及び性能を維持管理する。	・記載の適正化（蓄電池の性能維持期間を見直し）

頁	補正箇所	補正前							補正後							理由
36	六 第6－1表 性能維持施設 （1号炉に付 帯する施設及 び設備）（2 ／8）	第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（2／8）														・記載の適正化（核燃料物質貯蔵設備の性能及び性能維持期間を見直し）
		第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（2／8）														
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	核燃料物質貯蔵設備	使用済燃料貯蔵設備（1号炉原子炉建家原子炉棟内）			放射線遮蔽機能	放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		使用済燃料貯蔵ラック※2	1式	既許認可どおり	臨界防止機能	燃料集合体等が臨界に達する変形等有意な欠陥がない状態であること	1号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで									
		使用済燃料プール水位を監視する設備※2	1式	・位置：原子炉建家原子炉棟内 ・種類：水位検出器（フロート式）	水位及び漏えいの監視機能	使用済燃料プールの水位を監視し、水位高及び低の警報が発信できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備※2	1式	・位置：原子炉建家原子炉棟内 ・種類：水位検出器（フロート式）		使用済燃料プール内張りからの漏えいを監視し、水位高の警報が発信できる状態であること										
		燃料プール冷却浄化系ポンプ※2	1台	既許認可どおり	冷却浄化機能	使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること										
		燃料プール冷却浄化系熱交換器※2	2基	既許認可どおり	燃料プール水補給機能	使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること										
		燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器※2	1台	既許認可どおり		使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）	1基	既許認可どおり	燃料プール水補給機能	使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること 使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること										
第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（2／8）																
第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（2／8）																
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	核燃料物質貯蔵設備	使用済燃料貯蔵設備（1号炉原子炉建家原子炉棟内）			放射線遮蔽機能	放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで									
		使用済燃料貯蔵ラック※2	1式	既許認可どおり	臨界防止機能	燃料集合体等の臨界防止に影響するような変形等有意な損傷がない状態であること	1号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで									
		使用済燃料プール水位を監視する設備※2	1式	・位置：原子炉建家原子炉棟内 ・種類：水位検出器（フロート式）	水位及び漏えいの監視機能	使用済燃料プールの水位を監視し、水位高及び低の警報が発信できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで									
		燃料プール冷却浄化系ポンプ※2	1台	既許認可どおり		使用済燃料プール内張りからの漏えいを監視し、水位高の警報が発信できる状態であること	1号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで									
		燃料プール冷却浄化系熱交換器※2	2基	既許認可どおり	冷却浄化機能	使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）	1基	既許認可どおり	燃料プール水補給機能	使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること 使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること										

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由								
37	六 第6－1表 性能維持施設 （1号炉に付 帯する施設及 び設備）（3 ／8）	第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（3／8）										第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（3／8）										・記載の適正化（液体 廃棄物の廃棄設備の性 能の見直し）								
		施設 区分		設備等 の区分		位置、構造及び設備				機 能		性 能		維 持 期 間																
		放 射 性 廃 棄 物 の 廃 棄 設 備 の		気 体 廃 棄 物 の 設 備		排 気 筒		1 基		既 許 認 可 ど お り		放 射 性 廃 棄 物 処 理 機 能		排 気 筒 以 外 か ら 気 体 状 の 放 射 性 廃 棄 物 を 放 出 す る 亀 裂 、 変 形 等 有 意 な 欠 陥 が な い 状 態 で あ る こ と		放 射 性 気 体 廃 棄 物 の 処 理 が 完 了 す る ま で														
		放 射 性 廃 棄 物 の 廃 棄 設 備		液 体 廃 棄 物 の 設 備		低 電 導 度 廃 液 系		3 基		既 許 認 可 ど お り		放 射 性 廃 棄 物 処 理 機 能		著 しい 漏 え い 又 は そ の 形 跡 が な く 、 亀 裂 、 変 形 等 有 意 な 欠 陥 が な い 状 態 で あ る こ と		放 射 性 液 体 廃 棄 物 の 処 理 が 完 了 す る ま で														
						高 電 導 度 廃 液 系		4 基		既 許 認 可 ど お り																				
						除 染 廃 液 系		2 基		既 許 認 可 ど お り																				

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由			
38	六 第 6－1 表 性能維持施設 （1 号炉に付 帯する施設及 び設備）（4 ／8）	第 6－1 表 性能維持施設（1 号炉に付帯する施設及び設備）（4／8）										第 6－1 表 性能維持施設（1 号炉に付帯する施設及び設備）（4／8）										・記載の適正化（固体 廃棄物の廃棄設備の性 能及び性能維持期間の 見直し）			
		施設 区分		設備等 の区分		位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間			施設 区分		設備等 の区分		位置、構造及び設備			機 能		性 能	維持期間	
		放射 性廃棄物の廃棄施設	固体 廃棄物の廃棄設備	原子炉冷却材浄化系 受けタンク	1 基	既許認可どおり	放射性廃棄物貯蔵機 能	著しい漏えい又はその形跡 がなく、亀裂、変形等有意 な欠陥がない状態であるこ と	放射性固体廃棄物の 処理が完了するまで							放射 性廃棄物の廃棄施設	固体 廃棄物の廃棄設備	原子炉冷却材浄化系 受けタンク	1 基	既許認可どおり	放射性廃棄物貯蔵機 能	内包する物質が漏えいする ような亀裂、変形等有意な 欠陥がない状態であること	貯蔵している放射性 固体廃棄物の取出し が完了するまで		
				燃料プール冷却浄化 系受けタンク	1 基	既許認可どおり																			
				復水浄化系受けタン ク	1 基	既許認可どおり																			
				減容装置	1 基	・位置：タービン建家内 ・種類：門型下降式 ・能力：10 t																			
		放射線管理施設	屋内管理用の主要な 設備	エリア放射線モニタ リング設備（1 号炉 原子炉建家内及び中 央制御室内）	7 台	既許認可どおり	放射線監視機能 放出管理機能	線量当量率を測定できる状 態であること 警報設定値において警報が 発信できる状態であること	関連する設備の供用 が終了するまで							放射線管理施設	屋内管理用の主要な 設備	原子炉補機冷却水モ ニタ	1 台	既許認可どおり	放射線監視機能 放出管理機能	放射性物質の濃度を測定で きる状態であること 警報設定値において警報が 発信できる状態であること	放射性気体廃棄物の 処理が完了するまで		
				プロセス放射線モニタリング設備	2 台	既許認可どおり																			
				屋外管理用の主要な設備																					

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由																																																																																																																																																																					
39	六 第 6－1 表 性能維持施設 （1 号炉に付 帯する施設及 び設備）（5 ／8）	第 6－1 表 性能維持施設（1 号炉に付帯する施設及び設備）（5／8）										第 6－1 表 性能維持施設（1 号炉に付帯する施設及び設備）（5／8）										・ 記載の適正化（換気空調系の性能について、フィルタを含めた換気空調系としての性能に見直し、蓄電池の性能について、供給先を限定した記載を見直し、蓄電池の性能維持期間を見直し）																																																																																																																																																																					
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備		機 能	性 能	維持期間	その他の主要な事項	位置、構造及び設備		機 能	性 能	維持期間	位置、構造及び設備		機 能	性 能	維持期間	その他の主要な事項																																																																																																																																																																									
		設備（建家）名称	維持台数					設備（建家）名称	維持台数				設備（建家）名称	維持台数					設備（建家）名称	維持台数																																																																																																																																																																							
原子炉格納施設	その他の主要な事項	原子炉建家原子炉棟	1 式	放射線物質漏えい防止機能 （事故時における非常用ガス処理系による気密性は除く。）	放射線物質が漏えいする亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	管理区域を解除するまで		原子炉建家原子炉棟側面のコンクリート壁	1 式	放射線遮蔽機能	放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること	給気ファン及び排気ファンの運転に異常がない状態であること		原子炉建家原子炉棟	1 式	放射線物質漏えい防止機能 （事故時における非常用ガス処理系による気密性は除く。）	放射線物質が漏えいする亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	管理区域を解除するまで																																																																																																																																																																									
		原子炉建家原子炉棟給気ファン	1 台	換気機能	電源供給機能			性能維持施設（使用済燃料の冷却のために必要な設備等）へ電源を供給できる状態であること	1 号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで	原子炉建家原子炉棟側面のコンクリート壁	1 式			放射線遮蔽機能	放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること	原子炉建家原子炉棟給気ファン	1 台				換気機能	電源供給機能	性能維持施設（使用済燃料の冷却のために必要な設備等）へ電源を供給できる状態であること	1 号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで																																																																																																																																																																			
		原子炉建家原子炉棟排気ファン	1 台							原子炉建家原子炉棟給気フィルタ	1 台			原子炉建家原子炉棟排気フィルタ	1 台	原子炉建家原子炉棟給気ファン	1 台								原子炉建家原子炉棟排気ファン	1 台	原子炉建家原子炉棟給気フィルタ	1 台	原子炉建家原子炉棟排気フィルタ	1 台																																																																																																																																																													
		原子炉建家原子炉棟換	1 台							位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：コントロール建家内 ・種類：密閉形クラッド式据置鉛蓄電池 ・容量：B 系 1400Ah（10 時間率） ・電圧：125V			位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ								位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ	位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ ・位置：タービン建家内 ・種類：バグタイプエアフィルタ

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由
40	六 第6－1表 性能維持施設 （1号炉に付 帯する施設及 び設備）（6 ／8）	第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（6／8）										第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（6／8）										・記載の適正化（換気 空調系の性能につい て、フィルタを含めた 換気空調系としての性 能に見直し）
		施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間													
				設備（建家）名称	維持台数																	
		その他原子炉の附属施設	その他の主要な事項	タービン建家換気空調系			換気機能	<u>給気ファン及び排気ファン の運転に異常がない状態で あること</u>	各建家の管理区域を 解除するまで													
				運転床換気系 給気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床換気系 排気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床換気系 給気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床換気系 排気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床外換気系 給気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床外換気系 排気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床外換気系 給気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床外換気系 排気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
		その他主要施設	建物及び構築物	原子炉建家付属棟			1式	既許認可どおり	放射線物質漏えい防 止機能 放射線遮蔽機能	放射性物質が漏えいする亀 裂、変形等有意な欠陥がな い状態であること 放射線障害の防止に影響す る有意な損傷がない状態で あること												
				タービン建家			1式	既許認可どおり														
				活性炭式希ガス・ホ ールドアップ装置建 家			1式	既許認可どおり														
		第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（6／8）																				
		施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間													
				設備（建家）名称	維持台数																	
		その他原子炉の附属施設	その他の主要な事項	タービン建家換気空調系			換気機能	<u>放射線障害を防止するため に必要な換気ができる状態 であること</u>	各建家の管理区域を 解除するまで													
				運転床換気系 給気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床換気系 排気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床換気系 給気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床換気系 排気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床外換気系 給気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床外換気系 排気ファン	1台	既許認可どおり																
				運転床外換気系 給気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
				運転床外換気系 排気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：パグタイプエアフィルタ																
		その他主要施設	建物及び構築物	原子炉建家付属棟			1式	既許認可どおり	放射線物質が漏えいする亀 裂、変形等有意な欠陥がな い状態であること 放射線障害の防止に影響す る有意な損傷がない状態で あること	放射線物質漏えい防 止機能 放射線遮蔽機能												
				タービン建家			1式	既許認可どおり														
				活性炭式希ガス・ホ ールドアップ装置建 家			1式	既許認可どおり														

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由		
41	六 第6－1表 性能維持施設 （1号炉に付 帯する施設及 び設備）（7 ／8）	第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（7／8）																						・記載の適正化（換気 空調系の性能につい て、フィルタを含めた 換気空調系としての性 能に見直し）
		施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備				機 能	性 能	維 持 期 間														
				設備（建家）名称	維持台数																			
		その他主要施設	発電所補助系	原子炉建家付属棟廃棄物受けタンク室換気空調系				換気機能	<div>給気ファン及び排気ファン の運転に異常がない状態 であること</div>	各建家の管理区域を 解除するまで														
				給気ファン	1台	既許認可どおり																		
				排気ファン	1台	既許認可どおり																		
				給気フィルタ	1台	・位置：原子炉建家付属棟内 ・種類：バググタイプエアフィルタ																		
				排気フィルタ	1台	・位置：タービン建家内 ・種類：バググタイプエアフィルタ																		
				給気ファン	1台	既許認可どおり																		
				排気ファン	1台	既許認可どおり																		
				給気フィルタ	1台	・位置：活性炭式希ガス・ホールドアップ 装置建家内 ・種類：バググタイプエアフィルタ																		
		その他主要施設	発電所補助系	活性炭式希ガス・ホールドアップ装置建家換気空調系				換気機能	<div>放射線障害を防止するため に必要な換気ができる状態 であること</div>	各建家の管理区域を 解除するまで														
				給気ファン	1台	既許認可どおり																		
				排気ファン	1台	既許認可どおり																		
		その他主要施設	発電所補助系	原子炉建家付属棟廃棄物受けタンク室換気空調系				換気機能																
				給気ファン	1台	既許認可どおり																		
				排気ファン	1台	既許認可どおり																		
				給気フィルタ	1台	・位置：原子炉建家付属棟内 ・種類：バググタイプエアフィルタ																		
		その他主要施設	発電所補助系	活性炭式希ガス・ホールドアップ装置建家換気空調系				換気機能																
				給気ファン	1台	既許認可どおり																		
				排気ファン	1台	既許認可どおり																		
				給気フィルタ	1台	・位置：活性炭式希ガス・ホールドアップ 装置建家内 ・種類：バググタイプエアフィルタ																		

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由
42	六 第6－1表 性能維持施設 （1号炉に付 帯する施設及 び設備）（8 ／8）	第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（8／8）										第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（8／8）										・記載の適正化（補機冷却系の性能について、供給先を限定した記載を見直し、移動形のCO ₂ 消火器の性能の見直し）
		第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（8／8）										第6－1表 性能維持施設（1号炉に付帯する施設及び設備）（8／8）										
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備				機 能	性 能	維持期間														
その他主要施設	発電所補助系	設備（建家）名称		維持台数	原子炉補機冷却系						補機冷却機能	性能維持施設（ <u>燃料プール冷却浄化系</u> ）へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設（ <u>原子炉補機冷却系第一中間ループ</u> ）へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設（ <u>原子炉補機冷却系二次熱交換器</u> ）へ海水を供給できる状態であること 性能維持施設（ <u>燃料プール冷却浄化系</u> ）へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設（ <u>原子炉補機冷却系第一中間ループ</u> ）へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設（ <u>原子炉補機冷却系二次熱交換器</u> ）へ海水を供給できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		第一中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		第二中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		海水ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		一次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		二次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		ホース置き場		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：屋内消火栓、屋外消火栓設備																	
		移動形のCO ₂ 消火器		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：消火器（CO ₂ ）																	
		非常用照明		1式	・位置：コントロール建家内他 ・種類：常／非常灯、直流非常灯																	
その他主要施設	発電所補助系	設備（建家）名称		維持台数	原子炉補機冷却系						補機冷却機能	性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ海水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		第一中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		第二中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		海水ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		一次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		二次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		ホース置き場		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：屋内消火栓、屋外消火栓設備																	
		移動形のCO ₂ 消火器		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：消火器（CO ₂ ）																	
		非常用照明		1式	・位置：コントロール建家内他 ・種類：常／非常灯、直流非常灯																	
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備				機 能	性 能	維持期間														
その他主要施設	発電所補助系	設備（建家）名称		維持台数	原子炉補機冷却系						補機冷却機能	性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ海水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること	1号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで									
		第一中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		第二中間ループ循環ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		海水ポンプ		1台	既許認可どおり																	
		一次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		二次熱交換器		1基	既許認可どおり																	
		ホース置き場		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：屋内消火栓、屋外消火栓設備																	
		移動形のCO ₂ 消火器		1式	・位置：原子炉建家内他 ・種類：消火器（CO ₂ ）																	
		非常用照明		1式	・位置：コントロール建家内他 ・種類：常／非常灯、直流非常灯																	

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																	
	六 第 6－2 表 性能維持施設 （1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）	（新規）	<div>第 6－2 表 性能維持施設（1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（1／11）</div> <table><tr><th rowspan="2">施設区分</th><th rowspan="2">設備等の区分</th><th colspan="2">位置、構造及び設備</th><th rowspan="2">機 能</th><th rowspan="2">性 能</th><th rowspan="2">維持期間</th></tr><tr><th>設備（建家）名称</th><th>維持台数</th></tr><tr><td>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</td><td>核燃料物質取扱設備</td><td>使用済燃料輸送容器※2</td><td>1 基</td><td>既許認可とおり</td><td>臨界防止機能 除熱機能 密封機能 放射線遮蔽機能</td><td>使用済燃料の運搬及び放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること</td><td>使用済燃料の構内輸送が完了するまで</td></tr></table> <div>※1：1 号及び 2 号炉共用 ※2：1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用</div>	施設区分	設備等の区分	位置、構造及び設備		機 能	性 能	維持期間	設備（建家）名称	維持台数	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	核燃料物質取扱設備	使用済燃料輸送容器※2	1 基	既許認可とおり	臨界防止機能 除熱機能 密封機能 放射線遮蔽機能	使用済燃料の運搬及び放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること	使用済燃料の構内輸送が完了するまで	・性能維持施設に使用済燃料輸送容器を追記
施設区分	設備等の区分	位置、構造及び設備				機 能	性 能				維持期間										
		設備（建家）名称	維持台数																		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	核燃料物質取扱設備	使用済燃料輸送容器※2	1 基	既許認可とおり	臨界防止機能 除熱機能 密封機能 放射線遮蔽機能	使用済燃料の運搬及び放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること	使用済燃料の構内輸送が完了するまで														

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前						補正後						理由	
43	六 第6－2表 性能維持施設 （1号及び2 号炉共用又は 1号，2号， 3号及び4号 炉共用として 付帯する施設 及び設備） （1／8）	第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（1／8）													
放射 性 廃 棄 物 の 廃 棄 施 設	液体 廃 棄 物 の 廃 棄 設 備	設備等 の区分	設備（建家）名称	維持台数	位置，構造及び設備	機 能	性 能	維持期間	機 能	性 能	維持期間				
		低電導度廃液系	低電導度廃液収集槽※2	4基	既許認可どおり	放射性廃棄物処理機 能	著しい漏えい又はその形跡がなく，亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること	放射性液体廃棄物の 処理が完了するまで							
			ろ過器供給タンク※2	2基	既許認可どおり										
			ろ過装置※2	3基	既許認可どおり										
			脱塩器※2	4基	既許認可どおり										
			サンプル槽※2	4基	既許認可どおり										
			高電導度廃液収集タンク※2	8基	既許認可どおり										
			濃縮装置※2	3基	既許認可どおり										
			蒸留水タンク※2	2基	既許認可どおり										
			脱塩器※2	2基	既許認可どおり										
			サンプル・タンク※2	2基	既許認可どおり										
			貯留槽※2	3基	既許認可どおり										
			高電導度廃液系						放射性廃棄物処理機 能	内包する物質が漏えいする ような亀裂，変形等有意な 欠陥がない状態であること	放射性液体廃棄物の 処理が完了するまで				

第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（2／11）													
放射 性 廃 棄 物 の 廃 棄 施 設	液体 廃 棄 物 の 廃 棄 設 備	設備等 の区分	設備（建家）名称	維持台数	位置，構造及び設備	機 能	性 能	維持期間					
		低電導度廃液系	低電導度廃液収集槽※2	4基	既許認可どおり	放射性廃棄物処理機 能	内包する物質が漏えいする ような亀裂，変形等有意な 欠陥がない状態であること	放射性液体廃棄物の 処理が完了するまで					
			ろ過器供給タンク※2	2基	既許認可どおり								
			ろ過装置※2	3基	既許認可どおり								
			脱塩器※2	4基	既許認可どおり								
			サンプル槽※2	4基	既許認可どおり								
			高電導度廃液収集タンク※2	8基	既許認可どおり								
			濃縮装置※2	3基	既許認可どおり								
			蒸留水タンク※2	2基	既許認可どおり								
			脱塩器※2	2基	既許認可どおり								
			サンプル・タンク※2	2基	既許認可どおり								
			貯留槽※2	3基	既許認可どおり								
			高電導度廃液系						放射性廃棄物処理機 能	内包する物質が漏えいする ような亀裂，変形等有意な 欠陥がない状態であること	放射性液体廃棄物の 処理が完了するまで		

・記載の適正化（液体
廃棄物の廃棄設備の性
能の見直し）

頁	補正箇所	補正前					補正後					理由
46	六 第 6－2 表 性能維持施設 （1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備） （4／8）	第 6－2 表 性能維持施設（1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（4／8）					第 6－2 表 性能維持施設（1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（5／11）					・ 記載の適正化
施設区分	設備等の区分	設備（建家）名称	維持台数	位置、構造及び設備		機 能	性 能	維持期間				
				・位置：サービス建家内，廃棄物処理建屋内，サイトバンカ建屋内 ・種類：プラスチックシンチレーション検出器								
				・位置：サービス建家内，事務建屋内 ・種類：Ge 半導体スペクトロメータ，液体シンチレーションシステム，α / β 線自動測定装置								
				エリア放射線モニタリング設備（廃棄物処理建屋※1内，サイトバンカ建屋※2内及び使用済燃料輸送容器保管建屋※2内）								
				放射線サーベイ機器※2								
放射線管理施設	屋内管理用の主要な設備	既許認可どおり		放射線監視機能	線量当量，線量当量率及び表面汚染が測定できる状態であること	線量当量，線量当量率及び表面汚染が測定できる状態であること 個人の内部被ばく及び外部被ばく線量を測定できる状態であること 放射線計測器の校正ができる状態であること						
		・位置：サービス建家内他 ・種類：円筒型電離箱（密封式）， ³ He 比例計数管，ZnS（Ag）シンチレーション検出器，シリコン半導体検出器，大面積端面形有機 GM 管										
		・位置：事務建屋内，サービス建家内，廃棄物処理建屋内，固体廃棄物貯蔵庫内 ・種類：プラスチックシンチレーション検出器，シリコン半導体検出器										
		・位置：サービス建家内 ・種類：γ 線照射装置										
		放射線計測器の校正設備※1										

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由
47	六 第 6－2 表 性能維持施設 （1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備） （5／8）	第 6－2 表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（5／8）										第 6－2 表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（6／11）										・記載の適正化
		放射線管理施設										放射線管理施設										
		施設区分		設備等の区分		設備（建家）名称		維持台数		位置、構造及び設備		機能		性能		維持期間						
		屋内管理用の主要な設備	プロセス放射線モニタリング設備		廃棄物処理補機冷却水モニタ※1		1 台	既許認可どおり	放射線監視機能 放出管理機能	空間線量率を測定できる状態であること 警報設定値において警報が発信できる状態であること 放射性物質濃度を測定できる状態であること 空間線量率を測定できる状態であること 風向及び風速，降雨量，大気温度を観測できる状態であること		放射性廃棄物の処理が完了するまで										
液体廃棄物処理系排水モニタ※1					1 台	既許認可どおり	放射性液体廃棄物の処理が完了するまで															
廃棄物処理建家換気空調系排気筒モニタ※2					2 台	既許認可どおり	放射性気体廃棄物の処理が完了するまで															
焼却設備排ガスモニタ※2					2 台	既許認可どおり																
サイトバンカ建屋排気モニタ※2					2 台	既許認可どおり																
		環境モニタリング設備		固定モニタリング設備※2		1 式	既許認可どおり	放射線監視機能 放出管理機能		空間線量率を測定できる状態であること 警報設定値において警報が発信できる状態であること 放射性物質濃度を測定できる状態であること 空間線量率を測定できる状態であること 風向及び風速，降雨量，大気温度を観測できる状態であること		すべての管理区域を解除するまで										
環境試料測定設備※2				1 式	既許認可どおり	放射性気体廃棄物の処理が完了するまで																
放射能観測車※2				1 式	既許認可どおり	放射線監視機能 放出管理機能																
				気象観測設備※2		1 式	既許認可どおり					放射性気体廃棄物の処理が完了するまで										

頁	補正箇所	補正前					補正後					理由			
48	六 第6－2表 性能維持施設 （1号及び2 号炉共用又は 1号，2号， 3号及び4号 炉共用として 付帯する施設 及び設備） （6／8）	第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（ <u>6／8</u> ）					第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（ <u>7／11</u> ）					・非常用ディーゼル発電機の号炉間融通に関する設計方針等の追記			
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備	維持台数	機 能	性 能	維持期間	位置、構造及び設備	維持台数	機 能	性 能	維持期間				
			設備（建家）名称	維持台数	機 能	性 能		維持期間	設備（建家）名称	維持台数	機 能	性 能	維持期間		
	その他原子炉の附属施設	非常 源 設 備 電	ディーゼル発電機※2	<u>2台</u>	既許認可どおり	電源供給機能 （ディーゼル発電機 の自動起動及び自動 給電機能は除く。）	性能維持施設（ <u>使用済燃料 の冷却のために必要な設備 等</u> ）へ電源を供給できる状 態であること	使用済燃料の搬出が 完了するまで	非常 用 電 源 設 備	非常用ディーゼル発 電機※2	<u>1台</u>	既許認可どおり	電源供給機能 （ <u>非常用ディーゼル 発電機の自動起動及 び自動給電機能は除 く。</u> ）	<u>非常用高圧母線に接続して いる</u> 性能維持施設へ電源を 供給できる状態であること	使用済燃料の搬出が 完了するまで
		その他の主要な事項	廃棄物処理建家換気空調系	ランドリ・センタ換気系 給気ファン※1	1台	既許認可どおり	換気機能	<u>給気ファン及び排気ファン の運転に異常がない状態 であること</u>		放射性気体廃棄物の放 射、変形等有意な欠陥がな い状態であること					
				ランドリ・センタ換気系 排気ファン※1	1台	既許認可どおり									
				ランドリ・センタ換気系 給気フィルタ※1	1台	既許認可どおり									
				ランドリ・センタ換気系 排気フィルタ※1	1台	既許認可どおり									
				廃棄物処理室換気系 給気ファン※1	2台	既許認可どおり									
				廃棄物処理室換気系 排気ファン※1	2台	既許認可どおり									
				廃棄物処理室換気系 給気フィルタ※1	1台	既許認可どおり									
廃棄物処理室換気系 排気フィルタ※1	1台			既許認可どおり											
廃棄物処理建家換気空調系 排気筒※2	1基	既許認可どおり	放射性廃棄物処理機 能	排気筒以外から気体状の放 射性廃棄物を放出する亀 裂、変形等有意な欠陥がな い状態であること	放射性気体廃棄物の 処理が完了するまで										

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由
48	六 第6－2表 性能維持施設 （1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備） （6／8） （つづき）	第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（6／8）															・記載の適正化（換気空調系の性能について，フィルタを含めた換気空調系としての性能に見直し）					
		施設区分	設備等の区分	位置，構造及び設備			機 能	性 能	維持期間													
				設備（建家）名称	維持台数																	
		その他原子炉の附属施設	非常設備電	ディーゼル発電機※2	2台	既許認可どおり		電源供給機能（ディーゼル発電機の自動起動及び自動給電機能は除く。）	性能維持施設（使用済燃料の冷却のために必要な設備等）へ電源を供給できる状態であること	使用済燃料の搬出が完了するまで												
				廃棄物処理建家換気空調系				換気機能	給気ファン及び排気ファンの運転に異常がない状態であること	各建家の管理区域を解除するまで												
				ランドリ・センタ換気系 給気ファン※1	1台	既許認可どおり																
				ランドリ・センタ換気系 排気ファン※1	1台	既許認可どおり																
				ランドリ・センタ換気系 給気フィルタ※1	1台	既許認可どおり																
				ランドリ・センタ換気系 排気フィルタ※1	1台	既許認可どおり																
				廃棄物処理室換気系 給気ファン※1	2台	既許認可どおり																
				廃棄物処理室換気系 排気ファン※1	2台	既許認可どおり																
				廃棄物処理室換気系 給気フィルタ※1	1台	既許認可どおり																
				廃棄物処理室換気系 排気フィルタ※1	1台	既許認可どおり																
				廃棄物処理建家換気空調系 排気筒※2	1基	既許認可どおり		放射性廃棄物処理機能	排気筒以外から気体状の放射性廃棄物を放出する亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること	放射性気体廃棄物の処理が完了するまで												
		第6－2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号，2号，3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）（9／11）																				
		施設区分	設備等の区分	位置，構造及び設備			機 能	性 能	維持期間													
				設備（建家）名称	維持台数																	
		その他原子炉の附属施設		廃棄物処理建家換気空調系		換気機能	放射線障害を防止するために必要な換気ができる状態であること	各建家の管理区域を解除するまで														
				ランドリ・センタ換気系 給気ファン※1	1台																	
				ランドリ・センタ換気系 排気ファン※1	1台																	
				ランドリ・センタ換気系 給気フィルタ※1	1台																	
				ランドリ・センタ換気系 排気フィルタ※1	1台																	
				廃棄物処理室換気系 給気ファン※1	2台																	
				廃棄物処理室換気系 排気ファン※1	2台																	
				廃棄物処理室換気系 給気フィルタ※1	1台																	
				廃棄物処理室換気系 排気フィルタ※1	1台																	
				廃棄物処理建家換気空調系 排気筒※2	1基			放射性廃棄物処理機能	排気筒以外から気体状の放射性廃棄物を放出する亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること	放射性気体廃棄物の処理が完了するまで												

頁	補正箇所	補正前										補正後										理由
49	六 第 6－2 表 性能維持施設 （1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設 及び設備） （ 7／ 8 ）	第 6－2 表 性能維持施設（1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（ 7／ 8 ）										第 6－2 表 性能維持施設（1 号及び 2 号炉共用又は 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（ 1 0／ 1 1 ）										・ 記載の適正化（換気空調系の性能について、フィルタを含めた換気空調系としての性能に見直し）
		施設区分	設備等の区分	位置，構造及び設備			機能	性能	性能	維持期間												
				設備（建家）名称	維持台数																	
その他原子炉の附属施設		その他の主要な事項	使用済燃料輸送容器（キャスク）保管建屋※2	1 式	既許認可どおり	放射性物質漏えい防止機能 放射線遮蔽機能	放射性物質が漏えいする亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること 放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること		各建家の管理区域を解除するまで													
その他主要施設		建物及び構築物	コントロール建家※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	給気ファン※2	1 台	既許認可どおり													
		発電所補助系	サービズ建家※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	排気ファン※2	2 台	既許認可どおり													
			廃棄物処理建屋※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	給気フィルタ※2	1 台	・位置：サイトバンカ建屋内 ・種類：バグタイプフィルタ													
			サイトバンカ建屋※2	1 式	既許認可どおり	換気機能	排気フィルタ※2	2 台	・位置：サイトバンカ建屋内 ・種類：バグタイプフィルタ													
その他主要施設		建物及び構築物	コントロール建家※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	放射線物質が漏えいする亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること 放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること		各建家の管理区域を解除するまで													
		建物及び構築物	サービズ建家※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	排気ファン※2	2 台	既許認可どおり													
			廃棄物処理建屋※1	1 式	既許認可どおり	換気機能	給気フィルタ※2	1 台	・位置：サイトバンカ建屋内 ・種類：バグタイプフィルタ													
その他主要施設		建物及び構築物	サイトバンカ建屋※2	1 式	既許認可どおり	換気機能	放射線障害を防止するため必要な換気ができる状態であること		各建家の管理区域を解除するまで													

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																																																
50	六 第 6 － 2 表 性能維持施設 （ 1 号及び 2 号炉共用又は 1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉 共用として付 帯する施設及 び設備）（ 8 ／ 8 ）	<div>第 6 － 2 表 性能維持施設（ 1 号及び 2 号炉共用又は 1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（ 8 ／ 8 ）</div> <table><tr><th rowspan="2">施設 区分</th><th rowspan="2">設備等 の区分</th><th colspan="3">位置、構造及び設備</th><th rowspan="2">機 能</th><th rowspan="2">性 能</th><th rowspan="2">維持期間</th></tr><tr><th>設備（建家）名称</th><th>維持台数</th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">その他主要施設</td><td rowspan="3">発電所補助系</td><td colspan="2">消火装置</td><td></td><td rowspan="4">消火機能</td><td rowspan="3">著しい漏えい又はその形跡がなく、亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</td><td rowspan="4">各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで</td></tr><tr><td>ろ過水タンク※2</td><td>2 基</td><td>・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl</td></tr><tr><td>消火ポンプ※2</td><td>1 式</td><td>・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ディーゼル駆動の消火ポンプ※2</td><td>1 式</td><td>・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h</td><td colspan="2">消火栓から放水できる状態であること</td></tr></table>	施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間	設備（建家）名称	維持台数		その他主要施設	発電所補助系	消火装置			消火機能	著しい漏えい又はその形跡がなく、亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで	ろ過水タンク※2	2 基	・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl	消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h			ディーゼル駆動の消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h	消火栓から放水できる状態であること		<div>第 6 － 2 表 性能維持施設（ 1 号及び 2 号炉共用又は 1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉共用として付帯する施設及び設備）（ 1 1 ／ 1 1 ）</div> <table><tr><th rowspan="2">施設 区分</th><th rowspan="2">設備等 の区分</th><th colspan="3">位置、構造及び設備</th><th rowspan="2">機 能</th><th rowspan="2">性 能</th><th rowspan="2">維持期間</th></tr><tr><th>設備（建家）名称</th><th>維持台数</th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">その他主要施設</td><td rowspan="3">発電所補助系</td><td colspan="2">消火装置</td><td></td><td rowspan="4">消火機能</td><td rowspan="3">内包する物質が漏えいするような亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</td><td rowspan="4">各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで</td></tr><tr><td>ろ過水タンク※2</td><td>2 基</td><td>・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl</td></tr><tr><td>消火ポンプ※2</td><td>1 式</td><td>・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ディーゼル駆動の消火ポンプ※2</td><td>1 式</td><td>・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h</td><td colspan="2">消火栓から放水できる状態であること</td></tr></table>	施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間	設備（建家）名称	維持台数		その他主要施設	発電所補助系	消火装置			消火機能	内包する物質が漏えいするような亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで	ろ過水タンク※2	2 基	・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl	消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h			ディーゼル駆動の消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h	消火栓から放水できる状態であること		・記載の適正化（ろ過水タンクの性能の見直し）
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間																																																													
		設備（建家）名称	維持台数																																																																	
その他主要施設	発電所補助系	消火装置			消火機能	著しい漏えい又はその形跡がなく、亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで																																																													
		ろ過水タンク※2	2 基	・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl																																																																
		消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h																																																																
		ディーゼル駆動の消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h		消火栓から放水できる状態であること																																																														
施設 区分	設備等 の区分	位置、構造及び設備			機 能	性 能	維持期間																																																													
		設備（建家）名称	維持台数																																																																	
その他主要施設	発電所補助系	消火装置			消火機能	内包する物質が漏えいするような亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること	各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了するまで																																																													
		ろ過水タンク※2	2 基	・種類：全溶接（銅）製円筒形球面屋根式 ・容量：10000kl																																																																
		消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h																																																																
		ディーゼル駆動の消火ポンプ※2	1 式	・位置：水処理建屋内 ・種類：横置車段うず巻型 ・容量：350m³/h		消火栓から放水できる状態であること																																																														

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																						
	六 第 6－3 表 廃止措置期間 中における非 常用ディーゼ ル発電機の負 荷（1／4）	(新規)	<div>第 6－3 表 廃止措置期間中における非常用ディーゼル発電機の 負荷（1／4）</div> <table><tr><th>1 号炉 負荷名称</th><th>負荷容量 [kW]</th></tr><tr><td>燃料プール補給水系</td><td>61.2</td></tr><tr><td>燃料プール補給水ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系 ポンプ</td><td>77.8</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 第一中間ループ循環ポンプ</td><td>122.3</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ</td><td>283.4</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 海水ポンプ</td><td>227.8</td></tr><tr><td>残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ</td><td>322.3</td></tr><tr><td>非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ</td><td>144.5</td></tr><tr><td>中央制御室換気空調系 （空気調和機など）</td><td>275.3</td></tr><tr><td>1・2 号ペーjing装置電源</td><td>17.0</td></tr><tr><td>非常用照明（片系）</td><td>111.2</td></tr><tr><td>125V 充電器 1A</td><td>87.6</td></tr><tr><td>125V 充電器 1B</td><td>35.5</td></tr><tr><td>プラントバイタル CVCF</td><td>36.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 1A</td><td>41.3</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 1B</td><td>41.3</td></tr><tr><td>計測用主変圧器</td><td>41.3</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,925.8</td></tr></table>	1 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]	燃料プール補給水系	61.2	燃料プール補給水ポンプ		燃料プール冷却浄化系 ポンプ	77.8	原子炉補機冷却系 第一中間ループ循環ポンプ	122.3	原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	283.4	原子炉補機冷却系 海水ポンプ	227.8	残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	322.3	非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	144.5	中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	275.3	1・2 号ペーjing装置電源	17.0	非常用照明（片系）	111.2	125V 充電器 1A	87.6	125V 充電器 1B	35.5	プラントバイタル CVCF	36.0	中央制御室計測用変圧器 1A	41.3	中央制御室計測用変圧器 1B	41.3	計測用主変圧器	41.3	合計	1,925.8	・非常用ディーゼル発 電機の号炉間融通に関 する設計方針等の追記
1 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]																																									
燃料プール補給水系	61.2																																									
燃料プール補給水ポンプ																																										
燃料プール冷却浄化系 ポンプ	77.8																																									
原子炉補機冷却系 第一中間ループ循環ポンプ	122.3																																									
原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	283.4																																									
原子炉補機冷却系 海水ポンプ	227.8																																									
残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	322.3																																									
非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	144.5																																									
中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	275.3																																									
1・2 号ペーjing装置電源	17.0																																									
非常用照明（片系）	111.2																																									
125V 充電器 1A	87.6																																									
125V 充電器 1B	35.5																																									
プラントバイタル CVCF	36.0																																									
中央制御室計測用変圧器 1A	41.3																																									
中央制御室計測用変圧器 1B	41.3																																									
計測用主変圧器	41.3																																									
合計	1,925.8																																									

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																		
	六 第 6－3 表 廃止措置期間 中における非 常用ディーゼ ル発電機の負 荷（2／4）	(新規)	<div>第 6－3 表 廃止措置期間中における非常用ディーゼル発電機の 負荷（2／4）</div> <table><tr><th>2 号炉 負荷名称</th><th>負荷容量 [kW]</th></tr><tr><td>燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ</td><td>26.0</td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系 ポンプ</td><td>88.0</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ</td><td>351.0</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 海水ポンプ</td><td>386.0</td></tr><tr><td>残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ</td><td>316.0</td></tr><tr><td>非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ</td><td>129.0</td></tr><tr><td>中央制御室換気空調系 （空気調和機など）</td><td>199.0</td></tr><tr><td>1・2 号 PHS リモート装置電源</td><td>22.0</td></tr><tr><td>非常用照明（片系）</td><td>80.0</td></tr><tr><td>125V 充電器 2A</td><td>99.0</td></tr><tr><td>125V 充電器 2B</td><td>48.0</td></tr><tr><td>プラントバイタル CVCF</td><td>38.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 2A</td><td>54.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 2B</td><td>54.0</td></tr><tr><td>計測用主変圧器</td><td>54.0</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,944.0</td></tr></table>	2 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]	燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ	26.0	燃料プール冷却浄化系 ポンプ	88.0	原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	351.0	原子炉補機冷却系 海水ポンプ	386.0	残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	316.0	非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	129.0	中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	199.0	1・2 号 PHS リモート装置電源	22.0	非常用照明（片系）	80.0	125V 充電器 2A	99.0	125V 充電器 2B	48.0	プラントバイタル CVCF	38.0	中央制御室計測用変圧器 2A	54.0	中央制御室計測用変圧器 2B	54.0	計測用主変圧器	54.0	合計	1,944.0	・非常用ディーゼル発 電機の号炉間融通に関 する設計方針等の追記
2 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]																																					
燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ	26.0																																					
燃料プール冷却浄化系 ポンプ	88.0																																					
原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	351.0																																					
原子炉補機冷却系 海水ポンプ	386.0																																					
残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	316.0																																					
非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	129.0																																					
中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	199.0																																					
1・2 号 PHS リモート装置電源	22.0																																					
非常用照明（片系）	80.0																																					
125V 充電器 2A	99.0																																					
125V 充電器 2B	48.0																																					
プラントバイタル CVCF	38.0																																					
中央制御室計測用変圧器 2A	54.0																																					
中央制御室計測用変圧器 2B	54.0																																					
計測用主変圧器	54.0																																					
合計	1,944.0																																					

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																																
	六 第 6－3 表 廃止措置期間 中における非 常用ディーゼ ル発電機の負 荷（3／4）	（新規）	<div>第 6－3 表 廃止措置期間中における非常用ディーゼル発電機の 負荷（3／4）</div> <table><tr><th>3 号炉 負荷名称</th><th>負荷容量 [kW]</th></tr><tr><td>燃料プール補給水系</td><td>16.7</td></tr><tr><td>燃料プール補給水ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系 ポンプ</td><td>77.8</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系</td><td>421.1</td></tr><tr><td>第二中間ループ循環ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系</td><td>322.3</td></tr><tr><td>海水ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>残留熱除去機器冷却系</td><td>322.3</td></tr><tr><td>海水ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>非常用ディーゼル発電設備冷却系</td><td>116.7</td></tr><tr><td>中間ループ循環ポンプ</td><td></td></tr><tr><td>中央制御室換気空調系 （空気調和機など）</td><td>379.9</td></tr><tr><td>FPC ポンプ室空調機</td><td>8.4</td></tr><tr><td>3・4 号ペーシング装置電源</td><td>24.0</td></tr><tr><td>3・4 号 PHS リモート装置電源</td><td>22.0</td></tr><tr><td>非常用照明（片系）</td><td>111.2</td></tr><tr><td>125V 充電器 3A</td><td>90.7</td></tr><tr><td>125V 充電器 3B</td><td>40.0</td></tr><tr><td>プラントバイタル CVCF</td><td>34.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 3A</td><td>41.3</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 3B</td><td>41.3</td></tr><tr><td>計測用主変圧器</td><td>41.3</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,111.0</td></tr></table>	3 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]	燃料プール補給水系	16.7	燃料プール補給水ポンプ		燃料プール冷却浄化系 ポンプ	77.8	原子炉補機冷却系	421.1	第二中間ループ循環ポンプ		原子炉補機冷却系	322.3	海水ポンプ		残留熱除去機器冷却系	322.3	海水ポンプ		非常用ディーゼル発電設備冷却系	116.7	中間ループ循環ポンプ		中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	379.9	FPC ポンプ室空調機	8.4	3・4 号ペーシング装置電源	24.0	3・4 号 PHS リモート装置電源	22.0	非常用照明（片系）	111.2	125V 充電器 3A	90.7	125V 充電器 3B	40.0	プラントバイタル CVCF	34.0	中央制御室計測用変圧器 3A	41.3	中央制御室計測用変圧器 3B	41.3	計測用主変圧器	41.3	合計	2,111.0	・非常用ディーゼル発 電機の号炉間融通に関 する設計方針等の追記
3 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]																																																			
燃料プール補給水系	16.7																																																			
燃料プール補給水ポンプ																																																				
燃料プール冷却浄化系 ポンプ	77.8																																																			
原子炉補機冷却系	421.1																																																			
第二中間ループ循環ポンプ																																																				
原子炉補機冷却系	322.3																																																			
海水ポンプ																																																				
残留熱除去機器冷却系	322.3																																																			
海水ポンプ																																																				
非常用ディーゼル発電設備冷却系	116.7																																																			
中間ループ循環ポンプ																																																				
中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	379.9																																																			
FPC ポンプ室空調機	8.4																																																			
3・4 号ペーシング装置電源	24.0																																																			
3・4 号 PHS リモート装置電源	22.0																																																			
非常用照明（片系）	111.2																																																			
125V 充電器 3A	90.7																																																			
125V 充電器 3B	40.0																																																			
プラントバイタル CVCF	34.0																																																			
中央制御室計測用変圧器 3A	41.3																																																			
中央制御室計測用変圧器 3B	41.3																																																			
計測用主変圧器	41.3																																																			
合計	2,111.0																																																			

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																		
	六 第 6－3 表 廃止措置期間 中における非 常用ディーゼ ル発電機の負 荷（4／4）	(新規)	<div>第 6－3 表 廃止措置期間中における非常用ディーゼル発電機の 負荷（4／4）</div> <table><tr><th>4 号炉 負荷名称</th><th>負荷容量 [kW]</th></tr><tr><td>燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ</td><td>18.0</td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系 ポンプ</td><td>88.0</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ</td><td>410.0</td></tr><tr><td>原子炉補機冷却系 海水ポンプ</td><td>410.0</td></tr><tr><td>残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ</td><td>293.0</td></tr><tr><td>非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ</td><td>155.0</td></tr><tr><td>中央制御室換気空調系 （空気調和機など）</td><td>259.0</td></tr><tr><td>FPC ポンプ室空調機</td><td>0.9</td></tr><tr><td>非常用照明（片系）</td><td>117.0</td></tr><tr><td>125V 充電器 4A</td><td>99.0</td></tr><tr><td>125V 充電器 4B</td><td>48.0</td></tr><tr><td>プラントバイタル CVCF</td><td>45.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 4A</td><td>54.0</td></tr><tr><td>中央制御室計測用変圧器 4B</td><td>54.0</td></tr><tr><td>計測用主変圧器</td><td>54.0</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,104.9</td></tr></table>	4 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]	燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ	18.0	燃料プール冷却浄化系 ポンプ	88.0	原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	410.0	原子炉補機冷却系 海水ポンプ	410.0	残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	293.0	非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	155.0	中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	259.0	FPC ポンプ室空調機	0.9	非常用照明（片系）	117.0	125V 充電器 4A	99.0	125V 充電器 4B	48.0	プラントバイタル CVCF	45.0	中央制御室計測用変圧器 4A	54.0	中央制御室計測用変圧器 4B	54.0	計測用主変圧器	54.0	合計	2,104.9	・非常用ディーゼル発 電機の号炉間融通に関 する設計方針等の追記
4 号炉 負荷名称	負荷容量 [kW]																																					
燃料プール補給水系 燃料プール補給水ポンプ	18.0																																					
燃料プール冷却浄化系 ポンプ	88.0																																					
原子炉補機冷却系 第二中間ループ循環ポンプ	410.0																																					
原子炉補機冷却系 海水ポンプ	410.0																																					
残留熱除去機器冷却系 海水ポンプ	293.0																																					
非常用ディーゼル発電設備冷却系 中間ループ循環ポンプ	155.0																																					
中央制御室換気空調系 （空気調和機など）	259.0																																					
FPC ポンプ室空調機	0.9																																					
非常用照明（片系）	117.0																																					
125V 充電器 4A	99.0																																					
125V 充電器 4B	48.0																																					
プラントバイタル CVCF	45.0																																					
中央制御室計測用変圧器 4A	54.0																																					
中央制御室計測用変圧器 4B	54.0																																					
計測用主変圧器	54.0																																					
合計	2,104.9																																					

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
	六 第 6－1 図 非常用ディーゼル発電機から各号炉へ電源を供給する際の電路	(新規)	<p>The diagram illustrates the power supply system for four reactors (1, 2, 3, 4) from emergency diesel generators (D/G). At the top, a 66kV busbar is shown. Below it, four sets of emergency diesel generators are connected to common high-voltage busbars (6.9kV) via starting transformers (1SA, 1SB, 3SA, 3SB). These common busbars are labeled as follows: - 1, 2号炉用 起動変圧器 1SA: 共用高压母線 6.9kV 1SA-2母線 (1号及び2号炉共用) - 1, 2号炉用 起動変圧器 1SB: 共用高压母線 6.9kV 1SB-2母線 (1号及び2号炉共用) - 3, 4号炉用 起動変圧器 3SA: 共用高压母線 6.9kV 3SA-2母線 (3号及び4号炉共用) - 3, 4号炉用 起動変圧器 3SB: 共用高压母線 6.9kV 3SB-2母線 (3号及び4号炉共用) Below these, individual reactor busbars are shown: - 1号炉: 非常用高压母線 6.9kV 1C母線, 非常用高压母線 6.9kV 1D母線 - 2号炉: 非常用高压母線 6.9kV 2C母線, 非常用高压母線 6.9kV 2D母線 - 3号炉: 非常用高压母線 6.9kV 3C母線, 非常用高压母線 6.9kV 3D母線 - 4号炉: 非常用高压母線 6.9kV 4C母線, 非常用高压母線 6.9kV 4D母線 Each reactor busbar is connected to a specific emergency diesel generator (D/G) via a starting transformer (1SA, 1SB, 3SA, 3SB).</p>	・非常用ディーゼル発電機の号炉間融通に関する設計方針等の追記

第 6－1 図 非常用ディーゼル発電機から各号炉へ電源を供給する際の電路

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
52	八 2. 核燃料物質 の管理	<p>2. 核燃料物質の管理</p> <p>1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵中の使用済燃料は，譲渡しまでの期間，1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵する。<u>2 号，3 号及び 4 号炉原子炉建屋原子炉棟内へ運搬し，一時的に同建屋内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）（1 号，2 号，3 号及び 4 号炉共用）に貯蔵する場合は，必要に応じて廃止措置計画に反映し変更の認可を受ける。</u>1 号炉原子炉建家内における使用済燃料の取扱い及び貯蔵は，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設で行うとともに，安全確保のために必要な燃料取扱，臨界防止，冷却浄化等の機能及び性能を有する設備を維持管理する。<u>2 号，3 号及び 4 号炉原子炉建屋原子炉棟内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）（1 号，2 号，3 号及び 4 号炉共用）に運搬した使用済燃料は，各号炉にて管理を行う。</u>また，1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）にて管理している使用済燃料の全てを搬出した場合は，1 号炉のすべての使用済燃料は 1 号炉の廃止措置対象施設から搬出されたものとする。なお，廃止措置に万全を期すため，将来廃止措置のために導入する予定の使用済燃料乾式貯蔵施設については，導入する前に廃止措置計画に反映し変更の認可を受ける。</p>	<p>2. 核燃料物質の管理</p> <p>1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵中の使用済燃料は，譲渡しまでの期間，1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵する。</p> <p>1 号炉原子炉建家内における使用済燃料の取扱い及び貯蔵は，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設で行うとともに，安全確保のために必要な燃料取扱，臨界防止，冷却浄化等の機能及び性能を有する設備を維持管理する。</p> <p>また，1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）にて管理している使用済燃料の全てを搬出した場合は，1 号炉のすべての使用済燃料は 1 号炉の廃止措置対象施設から搬出されたものとする。なお，廃止措置に万全を期すため，将来廃止措置のために導入する予定の使用済燃料乾式貯蔵施設については，導入する前に廃止措置計画に反映し変更の認可を受ける。</p>	<p>・号炉間輸送の記載を削除（解体工事準備期間中には号炉間輸送を計画していないことを明確化）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
53 54	八 3. 核燃料物質の譲渡し	<p>3. 核燃料物質の譲渡し</p> <p>使用済燃料は、1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から<u>直接、又は 2 号、3 号及び 4 号炉原子炉建屋原子炉棟内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）（1 号、2 号、3 号及び 4 号炉共用）を経由し</u>、使用済燃料輸送容器を使用して、廃止措置終了までに再処理施設へ全量搬出し、再処理事業者に譲り渡す。</p> <p>新燃料は、原子炉本体等解体撤去期間の開始までに加工施設等へ全量搬出し、加工事業者等に譲り渡す。なお、1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している新燃料は、加工施設等の受入基準を満足するように、必要に応じて気中で燃料棒の引抜き、除染及び燃料集合体形状への再組立てを行う等の措置を講じる。その後、必要に応じて新燃料貯蔵施設に一時的に貯蔵し、譲り渡す。新燃料の除染作業に当たっては、燃料棒を安全に取り扱うために専用の作業台を使用し、燃料棒の変形及び損傷を防止するとともに、取り扱う数量を燃料集合体 1 体のみ、かつその 1 体分の燃料棒のみに限定し、臨界を防止する。</p> <p>使用済燃料及び新燃料の譲渡しにおける取扱いは、核燃料物質取扱設備で取り扱うとともに、安全確保のために必要な燃料取扱機能、臨界防止機能及び燃料落下防止機能並びにこれらの性能を有する設備を維持管理する。また、使用済燃料及び新燃料の譲渡しにおける取扱い及び運搬は、関係法令及び関係告示に基づき適切に実施するとともに、保安のために必要な措置を保安規定に定めて実施する。</p>	<p>3. 核燃料物質の譲渡し</p> <p>使用済燃料は、1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から</p> <p>使用済燃料輸送容器を使用して、廃止措置終了までに再処理施設へ全量搬出し、再処理事業者に譲り渡す。</p> <p>新燃料は、原子炉本体等解体撤去期間の開始までに加工施設等へ全量搬出し、加工事業者等^{※1}に譲り渡す。なお、1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している新燃料は、加工施設等の受入基準を満足するように、必要に応じて気中で燃料棒の引抜き、除染及び燃料集合体形状への再組立てを行う等の措置を講じる。その後、必要に応じて新燃料貯蔵施設に一時的に貯蔵し、譲り渡す。新燃料の除染作業に当たっては、燃料棒を安全に取り扱うために専用の作業台を使用し、燃料棒の変形及び損傷を防止するとともに、取り扱う数量を燃料集合体 1 体のみ、かつその 1 体分の燃料棒のみに限定し、臨界を防止する。</p> <p>使用済燃料及び新燃料の譲渡しにおける取扱いは、核燃料物質取扱設備で取り扱うとともに、安全確保のために必要な燃料取扱機能、臨界防止機能及び燃料落下防止機能並びにこれらの性能を有する設備を維持管理する。また、使用済燃料及び新燃料の譲渡しにおける取扱い及び運搬は、関係法令及び関係告示に基づき適切に実施するとともに、保安のために必要な措置を保安規定に定めて実施する。</p> <p><u>※1：加工事業者等とは、国内の加工事業者のほか、我が国が原子力の平和利用に関する協力のための協定を締結している国の加工事業者を示す。</u></p>	<p>・号炉間輸送の記載を削除（解体工事準備期間中には号炉間輸送を計画していないことを明確化）</p> <p>・加工事業者等の「等」を明確化</p>

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
64	十 2. 1. 2. 廃止措置期間中に発生する放射性液体廃棄物の種類及び数量	<p>2. 1. 2. 廃止措置期間中に発生する放射性液体廃棄物の種類及び数量</p> <p>(1) 解体工事準備期間中</p> <p>解体工事準備期間中に 1 号炉から発生する放射性液体廃棄物の種類としては、除染、施設の維持管理等により発生する機器ドレン廃液、床ドレン廃液等の原子炉運転中と同様な廃棄物が想定される。</p> <p>解体工事準備期間中は、原子炉の運転を終了していること、原子炉の運転を停止してから長時間が経過していること、放射性物質によって汚染された区域の解体工事を行わず、原子炉運転中の施設定期検査時と同等の状態が継続すること、放射性液体廃棄物の管理に必要な放射性廃棄物処理機能、放出管理機能及び性能を有する設備を維持管理すること、</p> <p>復水器冷却水放水口における放射性物質の年間平均濃度が運転中と同等となるよう運転終了に伴う復水器冷却水流量の減少を考慮した放出管理目標値を設定し管理することから、放射性液体廃棄物の放出量は、原子炉設置許可申請書に記載の推定放出量を超えないと評価できる。</p>	<p>2. 1. 2. 廃止措置期間中に発生する放射性液体廃棄物の種類及び数量</p> <p>(1) 解体工事準備期間中</p> <p>解体工事準備期間中に 1 号炉から発生する放射性液体廃棄物の種類としては、除染、施設の維持管理等により発生する機器ドレン廃液、床ドレン廃液等の原子炉運転中と同様な廃棄物が想定される。</p> <p>解体工事準備期間中は、原子炉の運転を終了していること、原子炉の運転を停止してから長時間が経過していること、放射性物質によって汚染された区域の解体工事を行わず、原子炉運転中の施設定期検査時と同等の状態が継続すること、放射性液体廃棄物の管理に必要な放射性廃棄物処理機能、放出管理機能及び性能を有する設備を維持管理すること、<u>放射性液体廃棄物中の核種構成については、原子炉停止後の減衰を考慮し、短半減期核種を除外した核種構成とすること</u>、復水器冷却水放水口における放射性物質の年間平均濃度が運転中と同等となるよう運転終了に伴う復水器冷却水流量の減少を考慮した放出管理目標値を設定し管理することから、放射性液体廃棄物の放出量は、原子炉設置許可申請書に記載の推定放出量を超えないと評価できる。</p>	<p>・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し</p>

頁	補正箇所	補正前		補正後		理由
71	十 第 1 0 － 2 表 解体工 事準備期間 中における 放射性液体 廃棄物の放 出管理目標 値	第 1 0 － 2 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の放出管理目標値 <div>(単位：Bq/y)</div>		第 1 0 － 2 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の放出管理目標値 <div>(単位：Bq/y)</div>		・ 放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し
		項目	放出管理目標値※ ¹	項目	放出管理目標値※ ¹	
		放射性液体廃棄物 (³ Hを除く。)	<u>1.4×10⁹</u>	放射性液体廃棄物 (³ Hを除く。)	<u>1.2×10⁹</u>	

頁	補正箇所	補正前	理由
75	十 第 1 0 - 2 図 解体工事準備期間中の放射性液体廃棄物の処理処分フロー	<p>第 1 0 - 2 図 解体工事準備期間中の放射性液体廃棄物の処理処分フロー</p>	・記載の適正化

頁	補正箇所	補正後	理由
75	十 第 1 0 - 2 図 解体工事準備期間中の放射性液体廃棄物の処理処分フロー	<p>（1号又は2号炉） （原子炉建家（屋）付属棟）</p> <p>低電導度廃液系</p> <p>高電導度廃液系</p> <p>※1 除染廃液系から</p> <p>※3 除染廃液系から</p> <p>（1号及び2号炉廃棄物処理建屋）</p> <p>ろ過器 供給タンク</p> <p>ろ過装置</p> <p>脱塩器</p> <p>サンプル槽</p> <p>1号又は2号炉 復水貯蔵タンクへ</p> <p>第10-3図 原子炉冷却材 浄化系沈降分離槽へ</p> <p>第10-3図 使用済樹脂槽へ</p> <p>放出</p> <p>プラント再使用</p> <p>（1号、2号、3号又は4号炉） （原子炉建家（屋）付属棟）</p> <p>※1 高電導度廃液系へ</p> <p>※2 洗濯廃液系へ</p> <p>放出</p> <p>※3 高電導度廃液系へ</p> <p>※4 洗濯廃液系へ</p> <p>（3号又は4号炉） （原子炉建屋付属棟）</p> <p>※1 除染廃液系から</p> <p>（3号及び4号炉廃棄物処理建屋）</p> <p>ろ過装置</p> <p>脱塩器</p> <p>サンプル槽</p> <p>3号又は4号炉 復水貯蔵タンクへ</p> <p>第10-3図 原子炉冷却材 浄化系沈降分離槽へ</p> <p>第10-3図 使用済樹脂槽へ</p> <p>濃縮装置</p> <p>蒸留水タンク</p> <p>脱塩器</p> <p>サンプル・タンク</p> <p>貯留槽</p> <p>放出</p> <p>プラント再使用</p> <p>（1号及び2号炉） （サービス建家（屋））</p> <p>（1号及び2号炉廃棄物処理建屋）</p> <p>ろ過器</p> <p>放出</p> <p>（3号及び4号炉） （サービス建屋）</p> <p>（3号及び4号炉廃棄物処理建屋）</p> <p>ろ過器</p> <p>放出</p> <p>1号、2号、3号及び4号炉共用</p> <p>1号及び2号炉共用</p> <p>3号及び4号炉共用</p> <p>建家（屋）区分</p>	・記載の適正化

第 1 0 - 2 図 解体工事準備期間中の放射性液体廃棄物の処理処分フロー

頁	補正箇所	補正前	理由
76	十 第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（1 / 2）	<div><p>1 号炉</p><p>（原子炉建家原子炉棟）</p><p>原子炉冷却材浄化系 受けタンク</p><p>燃料プール冷却浄化系 受けタンク</p><p>2 号炉</p><p>（原子炉建屋原子炉棟）</p><p>原子炉冷却材浄化系 受けタンク</p><p>燃料プール冷却浄化系 受けタンク</p><p>使用済樹脂系</p><p>1 号炉</p><p>（タービン建家）</p><p>復水浄化系 受けタンク</p><p>（復水浄化系脱塩装置）⇒ ※1</p><p>2 号炉</p><p>（タービン建屋）</p><p>復水浄化系 受けタンク</p><p>復水浄化系 受けタンク</p><p>1 号，2 号，3 号及び 4 号炉共用</p><p>1 号及び 2 号炉共用</p><p>建家（屋）区分</p></div> <div><p>（1 号及び 2 号炉廃棄物処理建屋）</p><p>洗濯廃液系（第 8 - 2 図）洗濯廃液系濃縮装置から ⇒ 濃縮洗濯廃液タンク ⇒ 乾燥装置 ⇒ 固体廃棄物貯蔵庫</p><p>濃縮廃液系</p><p>原子炉冷却材浄化系沈降分離槽</p><p>（第 8 - 2 図）低電導度廃液系ろ過装置から</p><p>復水浄化系沈降分離槽</p><p>濃縮廃液タンク ⇒ 3 号及び 4 号炉廃棄物処理建屋</p><p>（第 8 - 2 図）低電導度廃液系脱塩器から （第 8 - 2 図）洗濯廃液系脱塩器から</p><p>使用済樹脂槽</p><p>（※ 1 復水浄化系脱塩装置から）</p></div>	・記載の適正化

第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（1 / 2）

頁	補正箇所	補正後	理由
76	十 第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（1 / 2）	<div><div><div><div>1 号炉 (原子炉建家原子炉棟)</div><div>原子炉冷却材浄化系 受けタンク</div><div>燃料プール冷却浄化系 受けタンク</div></div><div><div>2 号炉 (原子炉建屋原子炉棟)</div><div>原子炉冷却材浄化系 受けタンク</div><div>燃料プール冷却浄化系 受けタンク</div></div><div><div>1 号炉 (タービン建家)</div><div>復水浄化系 受けタンク</div><div>(復水浄化系脱塩装置) ※1</div></div><div><div>2 号炉 (タービン建屋)</div><div>復水浄化系 受けタンク</div><div>復水浄化系 受けタンク</div></div></div><div><div>1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉共用</div><div>1 号及び 2 号炉共用</div><div>建家 (屋) 区分</div></div><div><div>(1 号及び 2 号炉廃棄物処理建屋)</div><div>洗濯廃液系 (第 1 0 - 2 図) 洗濯廃液系濃縮装置から</div><div>濃縮洗濯廃液タンク</div><div>乾燥装置</div><div>固体廃棄物貯蔵庫</div><div>濃縮廃液系</div><div>濃縮廃液タンク</div><div>3 号及び 4 号炉廃棄物処理建屋</div><div>原子炉冷却材浄化系沈降分離槽</div><div>(第 1 0 - 2 図) 低電導度廃液系ろ過装置から</div><div>復水浄化系沈降分離槽</div><div>(第 1 0 - 2 図) 低電導度廃液系脱塩器から</div><div>(第 1 0 - 2 図) 洗濯廃液系脱塩器から</div><div>使用済樹脂槽</div><div>(※ 1 復水浄化系脱塩装置から)</div></div></div>	・記載の適正化

第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（1 / 2）

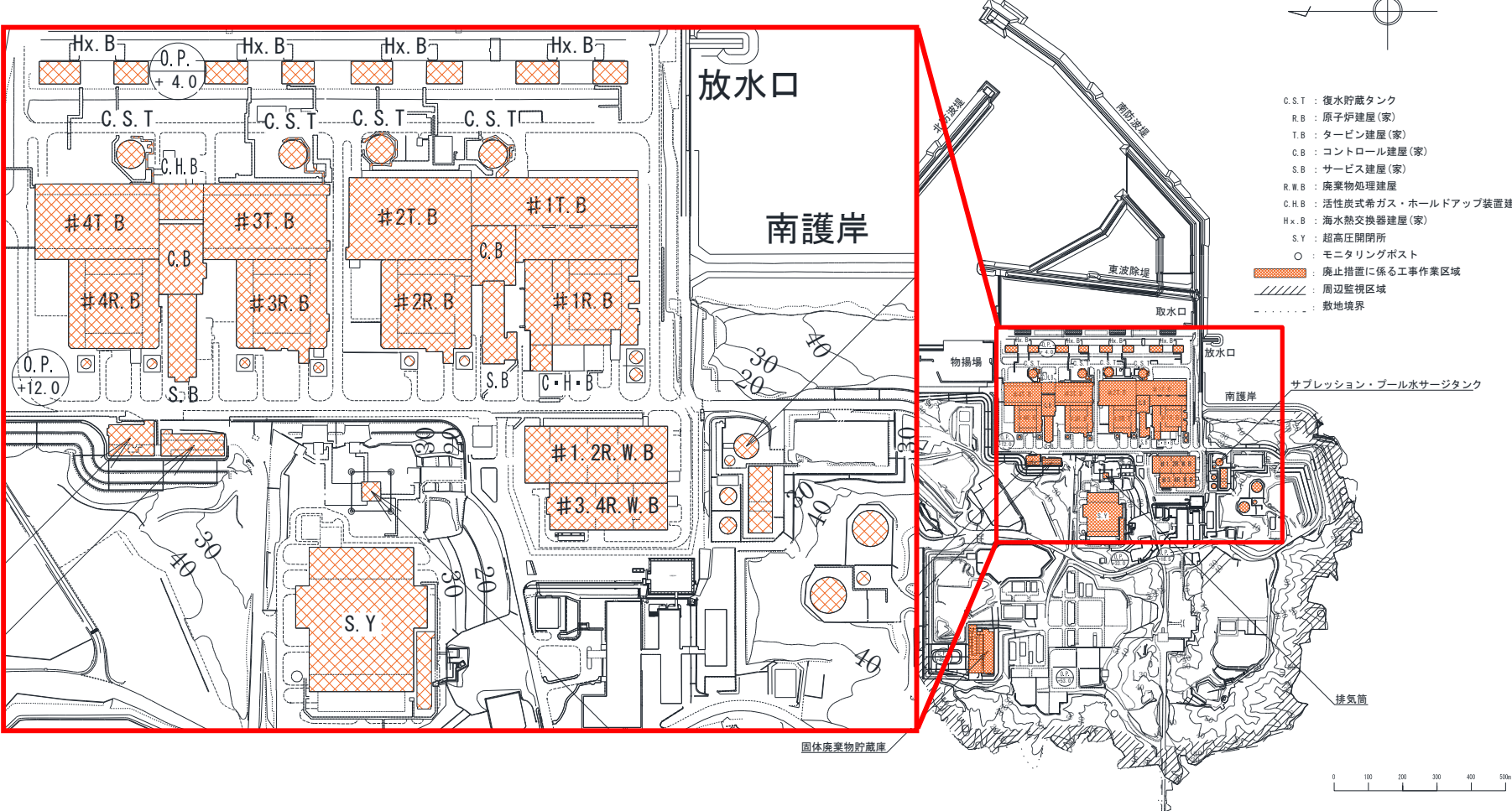
頁	補正箇所	補正前	理由
77	十 第 1 0 - 3 図 解体工 事準備期間 中の放射性 固体廃棄物 の処理フロ ー（2 / 2）	<p>3号又は4号炉 (原子炉建屋原子炉棟) 原子炉冷却材浄化系 受けタンク 燃料プール冷却浄化系 受けタンク 3号又は4号炉 (タービン建屋) 復水浄化系 受けタンク 3号又は4号炉 (原子炉建屋附属棟) 復水浄化系 受けタンク</p> <p>濃縮廃液系 (高電導度廃液系濃縮装置から) 濃縮廃液タンク 原子炉冷却材浄化系沈降分離槽 (低電導度廃液系ろ過装置から) 復水浄化系沈降分離槽 (低電導度廃液系脱塩器から 高電導度廃液系脱塩器から) 使用済樹脂槽</p> <p>1号, 2号, 3号及び4号炉共用 3号及び4号炉共用 建家(屋)区分</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備 雑固体廃棄物 減容装置 固型化処理 (モルタル充填) 固体廃棄物貯蔵庫</p> <p>1号及び2号炉 廃棄物処理建屋</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫</p>	・記載の適正化

第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（2 / 2）

頁	補正箇所	補正後	理由
77	十 第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（2 / 2）	<p>（3号及び4号炉廃棄物処理建屋）</p> <p>3号又は4号炉 （原子炉建屋原子炉棟） 原子炉冷却材浄化系 受けタンク 燃料プール冷却浄化系 受けタンク</p> <p>3号又は4号炉 （タービン建屋） 復水浄化系 受けタンク</p> <p>3号又は4号炉 （原子炉建屋附属棟） 復水浄化系 受けタンク</p> <p>濃縮廃液系 （第10-2図） 高電導度廃液系濃縮装置から</p> <p>原子炉冷却材浄化系 沈降分離槽</p> <p>（第10-2図） 低電導度廃液系ろ過装置から</p> <p>復水浄化系 沈降分離槽</p> <p>（第10-2図） 低電導度廃液系脱塩器から （第10-2図） 高電導度廃液系脱塩器から</p> <p>使用済樹脂槽</p> <p>濃縮廃液タンク</p> <p>固化装置</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫</p> <p>1号及び2号炉 廃棄物処理建屋</p> <p>1号、2号、3号及び4号炉共用</p> <p>3号及び4号炉共用</p> <p>建家（屋）区分</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫</p> <p>雑固体廃棄物</p> <p>減容装置</p> <p>固型化处理 （モルタル充填）</p>	・記載の適正化

第 1 0 - 3 図 解体工事準備期間中の放射性固体廃棄物の処理フロー（2 / 2）

頁	補正箇所	補正前	理由
2-2	添付書類二 第 2 - 1 - 1 図 廃止措置対象施設の敷地に係る図面及び廃止措置に係る工事作業区域図	<p>第 2 - 1 - 1 図 廃止措置対象施設の敷地に係る図面及び廃止措置に係る工事作業区域図</p>	・図の明瞭化, 廃止措置に係る工事作業区域変更

頁	補正箇所	補正後	理由
2-2	添付書類二 第 2 - 1 - 1 図 廃止 措置対象施 設の敷地に 係る図面及 び廃止措置 に係る工事 作業区域図	 <p>第 2 - 1 - 1 図 廃止措置対象施設の敷地に係る図面及び廃止措置に係る工事作業区域図</p>	・図の明瞭化, 廃止措置に係る工事作業区域変更

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
3－12	添付書類三 2.2.1. 解体工 事準備期間中	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>a. 放射性液体廃棄物の推定放出量</p> <p>(a)海水中における放射性物質の濃度</p> <p>福島第二原子力発電所では、放射性液体廃棄物の放出管理目標値を 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉の合計（トリチウムを除く。）で$1.4\times 10^{11}\text{Bq/y}$に設定して放出管理している。</p> <p>「原子炉設置許可申請書 添付書類九」では、放射性液体廃棄物中に含まれる放射性物質に起因する実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度は、復水器冷却水放水口の濃度と同じになるとして、放射性物質の年間放出量を年間の復水器冷却水量で除して計算している。計算に当たっては、年間放出量（トリチウムを除く。）は、液体廃棄物処理系の放射性物質濃度並びに先行炉の運転実績及び設計運転条件を基に推定した発生量及び環境放出量から液体廃棄物処理系の運用の変動を考慮して、1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉ともに$3.7\times 10^{10}\text{Bq/y}$とし、復水器冷却水量は、原子炉 1 基当たり約$1.9\times 10^9\text{m}^3/\text{y}$としている。</p> <p><u>海水中における放射性物質の年間平均濃度を第 3－2－3 表に示す。</u></p>	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>a. 放射性液体廃棄物の推定放出量</p> <p>(a)海水中における放射性物質の濃度</p> <p>福島第二原子力発電所では、放射性液体廃棄物の放出管理目標値を 1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉の合計（トリチウムを除く。）で$1.4\times 10^{11}\text{Bq/y}$に設定して放出管理している。</p> <p>「原子炉設置許可申請書 添付書類九」では、放射性液体廃棄物中に含まれる放射性物質に起因する実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度は、復水器冷却水放水口の濃度と同じになるとして、放射性物質の年間放出量を年間の復水器冷却水量で除して計算している。計算に当たっては、年間放出量（トリチウムを除く。）は、液体廃棄物処理系の放射性物質濃度並びに先行炉の運転実績及び設計運転条件を基に推定した発生量及び環境放出量から液体廃棄物処理系の運用の変動を考慮して、1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉ともに$3.7\times 10^{10}\text{Bq/y}$とし、復水器冷却水量は、原子炉 1 基当たり約$1.9\times 10^9\text{m}^3/\text{y}$としている。</p>	<p>・ 記載の適正化（放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
3－13	添付書類三 2.2.1. 解体工 事準備期間中	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>a. 放射性液体廃棄物の推定放出量</p> <p>(b)解体工事準備期間中における放出管理目標値</p> <p>原子炉運転中においては、実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度は、循環水ポンプ 3 台運転、稼働率80%の場合の冷却水量を基に計算している。</p> <p>今後、1 号炉から発生する放射性液体廃棄物は、1 号炉復水器冷却水放水口から放出せずに、2 号、3 号及び 4 号炉のいずれかの復水器冷却水放水口から放出する。</p> <p>今後も、実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度を原子炉運転中と同等に維持するため、復水器冷却水流量の減少に加え、1 号炉から発生した放射性液体廃棄物の放出を考慮しても 2 号、3 号及び 4 号炉復水器冷却水放水口の海水中における放射性物質の濃度が原子炉運転中と同等に維持するように 2 号、3 号及び 4 号炉の放出量を減少させる。</p> <p>以上より、解体工事準備期間中における 1 号、2 号、3 号及び 4 号炉の放射性液体廃棄物の年間放出量を第 3－2－4 表に示す。</p> <p>したがって、第 3－2－5 表に示すとおり、放射性液体廃棄物の放出管理目標値（トリチウムを除く。）を 1 号、2 号、3 号及び 4 号炉合計で$1.4\times 10^9\text{Bq/y}$に変更する。</p>	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>a. 放射性液体廃棄物の推定放出量</p> <p>(b)解体工事準備期間中における放出管理目標値</p> <p>原子炉運転中においては、実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度は、循環水ポンプ 3 台運転、稼働率80%の場合の冷却水量を基に計算している。</p> <p>今後、1 号炉から発生する放射性液体廃棄物は、1 号炉復水器冷却水放水口から放出せずに、2 号、3 号及び 4 号炉のいずれかの復水器冷却水放水口から放出する。</p> <p>今後も、実効線量の計算に用いる海水中における放射性物質の濃度を原子炉運転中と同等に維持するため、復水器冷却水流量の減少に加え、1 号炉から発生した放射性液体廃棄物の放出を考慮しても 2 号、3 号及び 4 号炉復水器冷却水放水口の海水中における放射性物質の濃度が原子炉運転中と同等に維持するように 2 号、3 号及び 4 号炉の放出量を減少させる。<u>また、放射性液体廃棄物中の核種構成については、原子炉停止後の減衰を考慮し、短半減期核種を除外した核種構成とする。</u></p> <p>以上より、解体工事準備期間中における 1 号、2 号、3 号及び 4 号炉の<u>海水中における放射性物質の年間平均濃度及び</u>放射性液体廃棄物の年間放出量を<u>第 3－2－3 表及び</u>第 3－2－4 表に示す。</p> <p>したがって、第 3－2－5 表に示すとおり、放射性液体廃棄物の放出管理目標値（トリチウムを除く。）を 1 号、2 号、3 号及び 4 号炉合計で$1.2\times 10^9\text{Bq/y}$に変更する。</p>	<p>・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し</p>

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
3－17	添付書類三 2.2.1. 解体工事準備期間中	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>c. 実効線量の評価結果</p> <p>放出管理目標値に相当する放射性物質を管理放出する場合の実効線量の評価結果は、</p> <p>海水中における放射性物質の濃度を 1 号炉原子炉運転中と同等に維持するため、<u>「原子炉設置許可申請書 添付書類九」に記載の値と同等となり、</u> 1 号、2 号、3 号及び 4 号炉による放射性液体廃棄物中に含まれる放射性物質（よう素を除く。）による実効線量は、<u>約4.3 μ Sv/y</u>となる。また、1 号、2 号、3 号及び 4 号炉による放射性液体廃棄物中に含まれるよう素による実効線量計算結果を第 3－2－9 表に示す。<u>これによれば、海藻類を摂取する場合、成人で約0.007 μ Sv/y、幼児で約0.02 μ Sv/y、乳児で約0.03 μ Sv/y、海藻類を摂取しない場合は、成人で約0.007 μ Sv/y、幼児で約0.02 μ Sv/y、乳児で約0.01 μ Sv/yとなる。</u></p>	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(2)放射性液体廃棄物の放出による被ばく</p> <p>c. 実効線量の評価結果</p> <p>放出管理目標値に相当する放射性物質を管理放出する場合の実効線量の評価結果は、<u>原子炉停止後の減衰を考慮し、短半減期核種を除外した核種構成とすること、その他の核種については、</u>海水中における放射性物質の濃度を 1 号炉原子炉運転中と同等に維持するため、</p> <p>1 号、2 号、3 号及び 4 号炉による放射性液体廃棄物中に含まれる放射性物質（よう素を除く。）による実効線量は、<u>約 2.6 μ Sv/y</u>となる。また、1 号、2 号、3 号及び 4 号炉による放射性液体廃棄物中に含まれるよう素による実効線量計算結果は第 3－2－9 表に示す<u>とおり、無視できる。</u></p>	<p>・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
3-17 3-18	添付書類三 2.2.1. 解体工事準備期間中	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(3)放射性固体廃棄物からの直接線量及びスカイシャイン線量</p> <p>1号 炉運転時における福島第二原子力発電所からの直接線量及びスカイシャイン線量による空気カーマは、人の居住する可能性のある敷地境界外において年間50 μ Gyを下回る。</p> <p>解体工事準備期間中は、1号 炉内において放射性物質によって汚染された区域の解体工事を行わず原子炉運転中の施設定期検査時と同等の状態が継続する。また、既存の建物及び構築物等を維持する。</p> <p>1号 炉運転中の直接線及びスカイシャイン線に主に寄与するタービン建 家 からの線量は、主蒸気中に含まれる窒素（N-16）を線源としている。</p> <p>1号 炉は、運転を停止してから長期間が経過していること、窒素（N-16）の半減期は約7秒であることから、タービン建 家 からの線量は無視できる。</p> <p>また、解体工事準備期間中に発生する放射性固体廃棄物は、固体廃棄物貯蔵庫等の貯蔵容量を超えないように貯蔵保管するとともに、安全確保のために必要な機能及び性能を維持することから、1号 炉運転時における直接線及びスカイシャイン線の評価結果を超えることはない。</p> <p>したがって、解体工事準備期間における福島第二原子力発電所からの直接線量及びスカイシャイン線量による空気カーマは、1号 炉運転時と同様に、人の居住する可能性のある敷地境界外において年間50 μ Gyを下回る。</p>	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中</p> <p>(3)放射性固体廃棄物からの直接線量及びスカイシャイン線量</p> <p>1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉運転時における福島第二原子力発電所からの直接線量及びスカイシャイン線量による空気カーマは、人の居住する可能性のある敷地境界外において年間50 μ Gyを下回る。</p> <p>解体工事準備期間中は、1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉内において放射性物質によって汚染された区域の解体工事を行わず原子炉運転中の施設定期検査時と同等の状態が継続する。また、既存の建物及び構築物等を維持する。</p> <p>1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉運転中の直接線及びスカイシャイン線に主に寄与するタービン建<u>屋（家）</u>からの線量は、主蒸気中に含まれる窒素（N-16）を線源としている。</p> <p>1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉は、運転を停止してから長期間が経過していること、窒素（N-16）の半減期は約7秒であることから、タービン建<u>屋（家）</u>からの線量は無視できる。</p> <p>また、解体工事準備期間中に発生する放射性固体廃棄物は、固体廃棄物貯蔵庫等の貯蔵容量を超えないように貯蔵保管するとともに、安全確保のために必要な機能及び性能を維持することから、1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉運転時における直接線及びスカイシャイン線の評価結果を超えることはない。</p> <p>したがって、解体工事準備期間における福島第二原子力発電所からの直接線量及びスカイシャイン線量による空気カーマは、1号、<u>2号、3号及び4号</u>炉運転時と同様に、人の居住する可能性のある敷地境界外において年間50 μ Gyを下回る。</p>	・記載の適正化

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
3－18	添付書類三 2.2.1. 解体工 事準備期間中	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中 (4)被ばく評価のまとめ</p> <p>敷地境界外における 1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉からの放射性 気体廃棄物中の希ガスの γ 線による実効線量並びに放射性気体 廃棄物中に含まれるよう素の吸入摂取, 葉菜摂取及び牛乳摂取に よる実効線量は, 無視できる。また,</p> <p>放射性液体廃棄物中の放射性物質 (よう素を除く。) によ る実効線量<u>並びに</u>放射性液体廃棄物中に含まれるよう素を摂取 する場合の実効線量は,<u>第 3－2－10 表に示すとおり, それぞ</u> <u>れ約 4.3 μ Sv/y 及び約 0.03 μ Sv/y となり</u>, 合計<u>約 4.3 μ Sv/y</u> であ る。この値は, 「線量目標値指針」に示される線量目標値 50 μ Sv/y を下回る。</p> <p>また, 福島第二原子力発電所の発電用原子炉施設からの直接線 量及びスカイシャイン線量による空気カーマは, 「一般公衆線量 評価」に示される年間 50 μ Gy 程度を下回る。</p>	<p>2.2.1. 解体工事準備期間中 (4)被ばく評価のまとめ</p> <p>敷地境界外における 1 号, 2 号, 3 号及び 4 号炉からの放射性 気体廃棄物中の希ガスの γ 線による実効線量並びに放射性気体 廃棄物中に含まれるよう素の吸入摂取, 葉菜摂取及び牛乳摂取に よる実効線量は, 無視できる。また, <u>第 3－2－10 表に示すと</u> <u>おり</u>, 放射性液体廃棄物中の放射性物質 (よう素を除く。) によ る実効線量<u>は約 2.6 μ Sv/y となり</u>, 放射性液体廃棄物中に含まれ るよう素を摂取する場合の実効線量は<u>無視できることから</u>, 合計 <u>約 2.6 μ Sv/y</u> であ る。この値は, 「線量目標値指針」に示される線量目標値 50 μ Sv/y を下回る。</p> <p>また, 福島第二原子力発電所の発電用原子炉施設からの直接線 量及びスカイシャイン線量による空気カーマは, 「一般公衆線量 評価」に示される年間 50 μ Gy 程度を下回る。</p>	<p>・放射性液体廃棄物の放 出量を現実的な評価に見 直し</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																																																																								
3－22	添付書類三 第 3 － 2 － 3 表 海水中における放射性物質の年間平均濃度	第 3 － 2 － 3 表 海水中における放射性物質の年間平均濃度 (単位：Bq/cm ³) <table><tr><th>核種</th><th>年間平均濃度</th></tr><tr><td>⁵¹Cr</td><td><u>約3.9×10^{－7}</u></td></tr><tr><td>⁵⁴Mn</td><td>約7.8×10^{－6}</td></tr><tr><td>⁵⁹Fe</td><td><u>約1.4×10^{－6}</u></td></tr><tr><td>⁵⁸Co</td><td><u>約5.8×10^{－7}</u></td></tr><tr><td>⁶⁰Co</td><td>約5.8×10^{－6}</td></tr><tr><td>⁸⁹Sr</td><td><u>約3.9×10^{－7}</u></td></tr><tr><td>⁹⁰Sr</td><td>約1.9×10^{－7}</td></tr><tr><td>¹³¹I</td><td><u>約3.9×10^{－7}</u></td></tr><tr><td>¹³⁴Cs</td><td>約9.7×10^{－7}</td></tr><tr><td>¹³⁷Cs</td><td>約1.6×10^{－6}</td></tr><tr><td>³H</td><td>約2.0×10^{－3}</td></tr></table>	核種	年間平均濃度	⁵¹ Cr	<u>約3.9×10^{－7}</u>	⁵⁴ Mn	約7.8×10 ^{－6}	⁵⁹ Fe	<u>約1.4×10^{－6}</u>	⁵⁸ Co	<u>約5.8×10^{－7}</u>	⁶⁰ Co	約5.8×10 ^{－6}	⁸⁹ Sr	<u>約3.9×10^{－7}</u>	⁹⁰ Sr	約1.9×10 ^{－7}	¹³¹ I	<u>約3.9×10^{－7}</u>	¹³⁴ Cs	約9.7×10 ^{－7}	¹³⁷ Cs	約1.6×10 ^{－6}	³ H	約2.0×10 ^{－3}	第 3 － 2 － 3 表 海水中における放射性物質の年間平均濃度 (単位：Bq/cm ³) <table><tr><th rowspan="2">核種</th><th colspan="4">年間平均濃度</th></tr><tr><th><u>1 号炉</u></th><th><u>2 号炉</u></th><th><u>3 号炉</u></th><th><u>4 号炉</u></th></tr><tr><td>⁵¹Cr</td><td><u>＝</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁵⁴Mn</td><td><u>＝</u></td><td>約7.8×10^{－6}</td><td>約7.8×10^{－6}</td><td>約7.8×10^{－6}</td></tr><tr><td>⁵⁹Fe</td><td><u>＝</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁵⁸Co</td><td><u>＝</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁶⁰Co</td><td><u>＝</u></td><td>約5.8×10^{－6}</td><td>約5.8×10^{－6}</td><td>約5.8×10^{－6}</td></tr><tr><td>⁸⁹Sr</td><td><u>＝</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁹⁰Sr</td><td><u>＝</u></td><td>約1.9×10^{－7}</td><td>約1.9×10^{－7}</td><td>約1.9×10^{－7}</td></tr><tr><td>¹³¹I</td><td><u>＝</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>¹³⁴Cs</td><td><u>＝</u></td><td>約9.7×10^{－7}</td><td>約9.7×10^{－7}</td><td>約9.7×10^{－7}</td></tr><tr><td>¹³⁷Cs</td><td><u>＝</u></td><td>約1.6×10^{－6}</td><td>約1.6×10^{－6}</td><td>約1.6×10^{－6}</td></tr><tr><td>³H</td><td><u>＝</u></td><td>約2.0×10^{－3}</td><td>約2.0×10^{－3}</td><td>約2.0×10^{－3}</td></tr></table>	核種	年間平均濃度				<u>1 号炉</u>	<u>2 号炉</u>	<u>3 号炉</u>	<u>4 号炉</u>	⁵¹ Cr	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁵⁴ Mn	<u>＝</u>	約7.8×10 ^{－6}	約7.8×10 ^{－6}	約7.8×10 ^{－6}	⁵⁹ Fe	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁵⁸ Co	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁶⁰ Co	<u>＝</u>	約5.8×10 ^{－6}	約5.8×10 ^{－6}	約5.8×10 ^{－6}	⁸⁹ Sr	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁹⁰ Sr	<u>＝</u>	約1.9×10 ^{－7}	約1.9×10 ^{－7}	約1.9×10 ^{－7}	¹³¹ I	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	¹³⁴ Cs	<u>＝</u>	約9.7×10 ^{－7}	約9.7×10 ^{－7}	約9.7×10 ^{－7}	¹³⁷ Cs	<u>＝</u>	約1.6×10 ^{－6}	約1.6×10 ^{－6}	約1.6×10 ^{－6}	³ H	<u>＝</u>	約2.0×10 ^{－3}	約2.0×10 ^{－3}	約2.0×10 ^{－3}	・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し
核種	年間平均濃度																																																																																											
⁵¹ Cr	<u>約3.9×10^{－7}</u>																																																																																											
⁵⁴ Mn	約7.8×10 ^{－6}																																																																																											
⁵⁹ Fe	<u>約1.4×10^{－6}</u>																																																																																											
⁵⁸ Co	<u>約5.8×10^{－7}</u>																																																																																											
⁶⁰ Co	約5.8×10 ^{－6}																																																																																											
⁸⁹ Sr	<u>約3.9×10^{－7}</u>																																																																																											
⁹⁰ Sr	約1.9×10 ^{－7}																																																																																											
¹³¹ I	<u>約3.9×10^{－7}</u>																																																																																											
¹³⁴ Cs	約9.7×10 ^{－7}																																																																																											
¹³⁷ Cs	約1.6×10 ^{－6}																																																																																											
³ H	約2.0×10 ^{－3}																																																																																											
核種	年間平均濃度																																																																																											
	<u>1 号炉</u>	<u>2 号炉</u>	<u>3 号炉</u>	<u>4 号炉</u>																																																																																								
⁵¹ Cr	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																								
⁵⁴ Mn	<u>＝</u>	約7.8×10 ^{－6}	約7.8×10 ^{－6}	約7.8×10 ^{－6}																																																																																								
⁵⁹ Fe	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																								
⁵⁸ Co	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																								
⁶⁰ Co	<u>＝</u>	約5.8×10 ^{－6}	約5.8×10 ^{－6}	約5.8×10 ^{－6}																																																																																								
⁸⁹ Sr	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																								
⁹⁰ Sr	<u>＝</u>	約1.9×10 ^{－7}	約1.9×10 ^{－7}	約1.9×10 ^{－7}																																																																																								
¹³¹ I	<u>＝</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																								
¹³⁴ Cs	<u>＝</u>	約9.7×10 ^{－7}	約9.7×10 ^{－7}	約9.7×10 ^{－7}																																																																																								
¹³⁷ Cs	<u>＝</u>	約1.6×10 ^{－6}	約1.6×10 ^{－6}	約1.6×10 ^{－6}																																																																																								
³ H	<u>＝</u>	約2.0×10 ^{－3}	約2.0×10 ^{－3}	約2.0×10 ^{－3}																																																																																								

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																																																																																																																		
3－23	添付書類三 第 3－2－4 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の年間放出量	<div>第 3－2－4 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の年間放出量 (単位：Bq/y)</div> <table><tr><th>核 種</th><th>1 号炉※1</th><th>2 号炉</th><th>3 号炉</th><th>4 号炉</th></tr><tr><td>⁵¹Cr</td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td></tr><tr><td>⁵⁴Mn</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td></tr><tr><td>⁵⁹Fe</td><td><u>2.5×10⁷</u></td><td><u>2.5×10⁷</u></td><td><u>2.5×10⁷</u></td><td><u>2.5×10⁷</u></td></tr><tr><td>⁵⁸Co</td><td><u>1.1×10⁷</u></td><td><u>1.1×10⁷</u></td><td><u>1.1×10⁷</u></td><td><u>1.1×10⁷</u></td></tr><tr><td>⁶⁰Co</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td></tr><tr><td>⁸⁹Sr</td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td></tr><tr><td>⁹⁰Sr</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td></tr><tr><td>¹³¹I</td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td><td><u>7.2×10⁶</u></td></tr><tr><td>¹³⁴Cs</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td></tr><tr><td>¹³⁷Cs</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td></tr><tr><td>放出量合計 (³Hを除く。)</td><td><u>3.6×10⁸</u></td><td><u>3.6×10⁸</u></td><td><u>3.6×10⁸</u></td><td><u>3.6×10⁸</u></td></tr><tr><td>³H</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td></tr></table>	核 種	1 号炉※1	2 号炉	3 号炉	4 号炉	⁵¹ Cr	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	⁵⁴ Mn	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	⁵⁹ Fe	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>	⁵⁸ Co	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>	⁶⁰ Co	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	⁸⁹ Sr	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	⁹⁰ Sr	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	¹³¹ I	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	¹³⁴ Cs	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	¹³⁷ Cs	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	放出量合計 (³ Hを除く。)	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>	³ H	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	<div>第 3－2－4 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の年間放出量 (単位：Bq/y)</div> <table><tr><th>核 種</th><th>1 号炉※1</th><th>2 号炉</th><th>3 号炉</th><th>4 号炉</th></tr><tr><td>⁵¹Cr</td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁵⁴Mn</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td><td>1.4×10⁸</td></tr><tr><td>⁵⁹Fe</td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁵⁸Co</td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁶⁰Co</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td><td>1.1×10⁸</td></tr><tr><td>⁸⁹Sr</td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>⁹⁰Sr</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td><td>3.6×10⁶</td></tr><tr><td>¹³¹I</td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td><td><u>～0</u></td></tr><tr><td>¹³⁴Cs</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td><td>1.8×10⁷</td></tr><tr><td>¹³⁷Cs</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td><td>2.9×10⁷</td></tr><tr><td>放出量合計 (³Hを除く。)</td><td><u>3.0×10⁸</u></td><td><u>3.0×10⁸</u></td><td><u>3.0×10⁸</u></td><td><u>3.0×10⁸</u></td></tr><tr><td>³H</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td><td>3.6×10¹⁰</td></tr></table>	核 種	1 号炉※1	2 号炉	3 号炉	4 号炉	⁵¹ Cr	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁵⁴ Mn	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	⁵⁹ Fe	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁵⁸ Co	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁶⁰ Co	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	⁸⁹ Sr	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	⁹⁰ Sr	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	¹³¹ I	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	¹³⁴ Cs	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	¹³⁷ Cs	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	放出量合計 (³ Hを除く。)	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>	³ H	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し
核 種	1 号炉※1	2 号炉	3 号炉	4 号炉																																																																																																																																		
⁵¹ Cr	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>																																																																																																																																		
⁵⁴ Mn	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸																																																																																																																																		
⁵⁹ Fe	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>	<u>2.5×10⁷</u>																																																																																																																																		
⁵⁸ Co	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>	<u>1.1×10⁷</u>																																																																																																																																		
⁶⁰ Co	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸																																																																																																																																		
⁸⁹ Sr	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>																																																																																																																																		
⁹⁰ Sr	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶																																																																																																																																		
¹³¹ I	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>	<u>7.2×10⁶</u>																																																																																																																																		
¹³⁴ Cs	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷																																																																																																																																		
¹³⁷ Cs	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷																																																																																																																																		
放出量合計 (³ Hを除く。)	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>	<u>3.6×10⁸</u>																																																																																																																																		
³ H	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰																																																																																																																																		
核 種	1 号炉※1	2 号炉	3 号炉	4 号炉																																																																																																																																		
⁵¹ Cr	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																																																																		
⁵⁴ Mn	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸	1.4×10 ⁸																																																																																																																																		
⁵⁹ Fe	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																																																																		
⁵⁸ Co	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																																																																		
⁶⁰ Co	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸	1.1×10 ⁸																																																																																																																																		
⁸⁹ Sr	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																																																																		
⁹⁰ Sr	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶	3.6×10 ⁶																																																																																																																																		
¹³¹ I	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>	<u>～0</u>																																																																																																																																		
¹³⁴ Cs	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷	1.8×10 ⁷																																																																																																																																		
¹³⁷ Cs	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷	2.9×10 ⁷																																																																																																																																		
放出量合計 (³ Hを除く。)	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>	<u>3.0×10⁸</u>																																																																																																																																		
³ H	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰	3.6×10 ¹⁰																																																																																																																																		

頁	補正箇所	補正前		補正後		理由
3－24	添付書類三 第 3 － 2 － 5 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の放出管理目標値	第 3 － 2 － 5 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の放出管理目標値 (単位：Bq/y)		第 3 － 2 － 5 表 解体工事準備期間中における放射性液体廃棄物の放出管理目標値 (単位：Bq/y)		・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し
		項目	放出管理目標値※ ¹	項目	放出管理目標値※ ¹	
		放射性液体廃棄物 (³ Hを除く。)	<u>1.4×10⁹</u>	放射性液体廃棄物 (³ Hを除く。)	<u>1.2×10⁹</u>	

頁	補正箇所	補正前				補正後				理由			
3－29	添付書類三 第 3 － 2 － 9 表 放射性液体廃棄物中に含まれるよう素に起因する実効線量	第 3 － 2 － 9 表 放射性液体廃棄物中に含まれるよう素に起因する実効線量 (単位：μ Sv/y)				第 3 － 2 － 9 表 放射性液体廃棄物中に含まれるよう素に起因する実効線量 (単位：μ Sv/y)				・放射性液体廃棄物の放出量を現実的な評価に見直し			
		<div></div>	年令グループ	放射性液体廃棄物中に含まれるよう素に起因する実効線量		<div></div>	年令グループ	放射性液体廃棄物中に含まれるよう素に起因する実効線量					
				海藻類を摂取する場合	海藻類を摂取しない場合			海藻類を摂取する場合	海藻類を摂取しない場合				
				1 号， 2 号， 3 号及び 4 号炉 (合計)	成人			<u>約 7.0×10⁻³</u>	<u>約 6.8×10⁻³</u>		成人	<u>～ 0</u>	<u>～ 0</u>
					幼児			<u>約 2.1×10⁻²</u>	<u>約 1.6×10⁻²</u>		幼児	<u>～ 0</u>	<u>～ 0</u>
乳児	<u>約 2.6×10⁻²</u>	<u>約 1.2×10⁻²</u>	乳児		<u>～ 0</u>	<u>～ 0</u>							

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前		補正後		理由
3－30	添付書類三 第 3－2－1 0 表 平常時 における実効 線量	第 3－2－1 0 表 平常時における実効線量 (単位： μ Sv/y)		第 3－2－1 0 表 平常時における実効線量 (単位： μ Sv/y)		・放射性液体廃棄物の 放出量を現実的な評価 に見直し
			実効線量		実効線量	
		放射性液体廃棄物中の放射性物質（よう素を除く。）による実効線量	<u>約4.3</u>	放射性液体廃棄物中の放射性物質（よう素を除く。）による実効線量	<u>約2.6</u>	
		放射性液体廃棄物中に含まれるよう素を摂取する場合の実効線量	<u>約0.03</u>	放射性液体廃棄物中に含まれるよう素を摂取する場合の実効線量	<u>～0</u>	
		合 計	<u>約4.3</u>	合 計	<u>約2.6</u>	

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－2 6－3	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能	<p>(2)核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>a. 核燃料物質取扱設備</p> <p>核燃料物質取扱設備の所要の性能を満足するため、原子炉設置許可申請書本文の「五、原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備 二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (イ) 核燃料物質取扱設備の構造」に示す「燃料取扱機能」、「臨界防止機能」及び「燃料落下防止機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>核燃料物質取扱設備のうち燃料取替機、原子炉建家クレーンが維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)燃料集合体を取扱い中、動力電源が喪失した場合に燃料集合体が停止した位置にて保持される状態であること</p> <p>(b)燃料集合体の取扱い中に燃料集合体が破損しないよう正常に動作する状態であること</p> <p>核燃料物質取扱設備のうちキャスク除染装置が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)使用済燃料輸送容器を除染する場所として、亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－2 表に示す。</p>	<p>(2)核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>a. 核燃料物質取扱設備</p> <p>核燃料物質取扱設備の所要の性能を満足するため、原子炉設置許可申請書本文の「五、原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備 二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (イ) 核燃料物質取扱設備の構造」に示す「燃料取扱機能」、「臨界防止機能」及び「燃料落下防止機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p><u>また、使用済燃料を構内輸送するため、「臨界防止機能」、「除熱機能」、「密封機能」及び「放射線遮蔽機能」を有する設備を維持対象とする。</u></p> <p>核燃料物質取扱設備のうち燃料取替機、原子炉建家クレーンが維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)燃料集合体を取扱い中、動力電源が喪失した場合に燃料集合体が停止した位置にて保持される状態であること</p> <p>(b)燃料集合体の取扱い中に燃料集合体が破損しないよう正常に動作する状態であること</p> <p>核燃料物質取扱設備のうちキャスク除染装置が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)使用済燃料輸送容器を除染する場所として、亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p><u>核燃料物質取扱設備のうち使用済燃料輸送容器が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</u></p> <p><u>(a)使用済燃料の運搬及び放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること</u></p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－2 表に示す。</p>	<p>・核燃料物質取扱設備の機能を追記</p> <p>・核燃料物質取扱設備の性能を追記</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－3 6－4	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (2) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 b. 核燃料物質貯蔵設備</p> <p>核燃料物質貯蔵設備の所要の性能を満足するため、原子炉設置許可申請書本文の「五、原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備 二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (ロ) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力」に示す「臨界防止機能」、「放射線遮蔽機能」、<u>「水位監視機能」、「漏えい監視機能」</u>、「冷却浄化機能」及び「燃料プール水補給機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>なお、使用済燃料貯蔵設備のうち燃料プール冷却浄化系については、廃止措置段階では、貯蔵されている使用済燃料は十分冷えているため、設備の故障時の対応に時間的余裕が十分にあること及び運転中から燃料プール冷却浄化系に多重性は要求されていないことから、機能及び性能を維持するために必要な系統数は 1 系統である。</p> <p>新燃料貯蔵施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。 (a) 燃料集合体等 <u>が臨界に達する</u> 変形等有意な <u>欠陥</u> がない状態であること</p> <p>使用済燃料貯蔵設備が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。 (a) 放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること (b) 燃料集合体等 <u>が臨界に達する</u> 変形等有意な <u>欠陥</u> がない状態であること (c) 使用済燃料プールの水位を監視し、水位高及び低の警報が発信できる状態であること (d) 使用済燃料プール内張りからの漏えいを監視し、水位高の警報が発信できる状態であること (e) 使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること (f) 使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること</p>	<p>1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (2) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 b. 核燃料物質貯蔵設備</p> <p>核燃料物質貯蔵設備の所要の性能を満足するため、原子炉設置許可申請書本文の「五、原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備 二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (ロ) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力」に示す「臨界防止機能」、「放射線遮蔽機能」、<u>「水位及び漏えいの監視機能」</u>、「冷却浄化機能」及び「燃料プール水補給機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>なお、使用済燃料貯蔵設備のうち燃料プール冷却浄化系については、廃止措置段階では、貯蔵されている使用済燃料は十分冷えているため、設備の故障時の対応に時間的余裕が十分にあること及び運転中から燃料プール冷却浄化系に多重性は要求されていないことから、機能及び性能を維持するために必要な系統数は 1 系統である。</p> <p>新燃料貯蔵施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。 (a) 燃料集合体等 <u>の臨界防止に影響するような</u> 変形等有意な <u>損傷</u> がない状態であること</p> <p>使用済燃料貯蔵設備が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。 (a) 放射線障害の防止に影響する有意な損傷がない状態であること (b) 燃料集合体等 <u>の臨界防止に影響するような</u> 変形等有意な <u>損傷</u> がない状態であること (c) 使用済燃料プールの水位を監視し、水位高及び低の警報が発信できる状態であること (d) 使用済燃料プール内張りからの漏えいを監視し、水位高の警報が発信できる状態であること (e) 使用済燃料プール水の冷却が可能な運転状態であること (f) 使用済燃料その他高放射性の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合に使用済燃料プール水をろ過脱塩器に通水できる状態であること</p>	<p>・記載の適正化</p> <p>・記載の適正化（新燃料貯蔵施設及び使用済燃料貯蔵施設の性能について、性能維持施設そのものに有意な損傷がない状態であることを明確化）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－4	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>復水貯蔵タンクが維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>著しい漏えい又はその形跡がなく</u>，亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 3 表に示す。</p> <p>なお，使用済燃料を 1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している期間において，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から冷却水が大量に漏えいする事象を考慮しても，燃料被覆管表面温度の上昇による燃料の健全性に影響はなく，また，臨界を防止できると評価できることから，使用済燃料の著しい損傷の進行を緩和し及び臨界を防止するための重大事故等対処設備は不要である。使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から冷却水が大量に漏えいする事象における燃料の評価については「添付書類六「1. 性能維持施設に必要な機能及び性能」の追補」にて補足する。</p>	<p>復水貯蔵タンクが維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>内包する物質が漏えいするような</u>亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 3 表に示す。</p> <p>なお，使用済燃料を 1 号炉原子炉建家内の使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している期間において，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から冷却水が大量に漏えいする事象を考慮しても，燃料被覆管表面温度の上昇による燃料の健全性に影響はなく，また，臨界を防止できると評価できることから，使用済燃料の著しい損傷の進行を緩和し及び臨界を防止するための重大事故等対処設備は不要である。使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）から冷却水が大量に漏えいする事象における燃料の評価については「添付書類六「1. 性能維持施設に必要な機能及び性能」の追補」にて補足する。</p>	<p>・記載の適正化（復水貯蔵タンクの性能を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－6	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>(3)放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>a. 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中も放射性気体廃棄物を処理するため、「放射性廃棄物処理機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)排気筒以外から気体状の放射性廃棄物を放出する亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 4 表に示す。</p> <p>b. 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中に発生する放射性液体廃棄物は、廃液の性状に応じた設備で処理し、放射性物質の濃度を低減して環境へ放出するため、性状に応じた「放射性廃棄物処理機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>著しい漏えい又はその形跡がなく、</u> 亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>(b) <u>著しい漏えい又はその形跡がなく、</u> 廃液濃縮処理が可能であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 5 表に示す。</p> <p>c. 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中も放射性固体廃棄物を処理及び貯蔵するため、「放射性廃棄物処理機能」及び「放射性廃棄物貯蔵機能」を有する設備を維持対象とする。</p>	<p>(3)放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>a. 気体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中も放射性気体廃棄物を処理するため、「放射性廃棄物処理機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a)排気筒以外から気体状の放射性廃棄物を放出する亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 4 表に示す。</p> <p>b. 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中に発生する放射性液体廃棄物は、廃液の性状に応じた設備で処理し、放射性物質の濃度を低減して環境へ放出するため、性状に応じた「放射性廃棄物処理機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>内包する物質が漏えいするような</u> 亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>(b)廃液濃縮処理が可能であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 5 表に示す。</p> <p>c. 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p>廃止措置期間中も放射性固体廃棄物を処理及び貯蔵するため、「放射性廃棄物処理機能」及び「放射性廃棄物貯蔵機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p><u>また、使用済制御棒等を構内輸送するため、「放射線遮蔽機能」を有する設備を維持対象とする。</u></p>	<p>・記載の適正化（液体廃棄物の廃棄設備の性能を見直し）</p> <p>・固体廃棄物の廃棄設備の機能を追記</p>

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－6	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>著しい漏えい又はその形跡がなく、</u> 亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>(b) 雑固体廃棄物の固化が可能な状態であること</p> <p>(c) 雑固体廃棄物の圧縮減容が可能な状態であること</p> <p>(d) 濃縮洗濯廃液の乾燥が可能な状態であること</p> <p>(e) 雑固体廃棄物の焼却が可能な状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 6 表に示す。</p>	<p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>内包する物質が漏えいするような</u> 亀裂、変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>(b) 雑固体廃棄物の固化が可能な状態であること</p> <p>(c) 雑固体廃棄物の圧縮減容が可能な状態であること</p> <p>(d) 濃縮洗濯廃液の乾燥が可能な状態であること</p> <p>(e) 雑固体廃棄物の焼却が可能な状態であること</p> <p><u>(f) 使用済制御棒等の運搬及び放射線障害の防止に影響するような有意な損傷がない状態であること</u></p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 6 表に示す。</p>	<p>・ 記載の適正化（固体廃棄物の廃棄設備の性能を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－10 6－11	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>(5)解体中に必要なその他の施設</p> <p>a. 換気空調系</p> <p>廃止措置期間中も核燃料物質の貯蔵管理及び搬出作業，施設内で発生する放射性廃棄物の処理，放射性粉じんの発生の可能性がある解体作業等において，空気浄化が必要となる可能性があるため，「換気機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>なお，換気設備については，廃止措置段階では，設備故障時には立入りを制限する等，復旧するまでの時間的余裕が十分にあることから，原子炉建家原子炉棟換気空調系給気ファン及び排気ファン，タービン建家換気空調系運転床換気系給気ファン及び排気ファン，タービン建家換気空調系運転床外換気系給気ファン及び排気ファン，廃棄物処理建家換気空調系ランドリ・センタ換気系給気ファン及び排気ファン，</p> <p style="text-align: right;">活性炭式希ガス・ホールドアップ装置建家換気空調系給気ファン及び排気ファン，サイトバンカ建屋換気空調系給気ファンの台数は 1 台である。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>給気ファン及び排気ファンの運転に異常がない状態であること</u></p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 2 表に示す。</p>	<p>(5)解体中に必要なその他の施設</p> <p>a. 換気空調系</p> <p>廃止措置期間中も核燃料物質の貯蔵管理及び搬出作業，施設内で発生する放射性廃棄物の処理，放射性粉じんの発生の可能性がある解体作業等において，空気浄化が必要となる可能性があるため，「換気機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>なお，換気設備については，廃止措置段階では，設備故障時には立入りを制限する等，復旧するまでの時間的余裕が十分にあることから，原子炉建家原子炉棟換気空調系給気ファン及び排気ファン，タービン建家換気空調系運転床換気系給気ファン及び排気ファン，タービン建家換気空調系運転床外換気系給気ファン及び排気ファン，廃棄物処理建家換気空調系ランドリ・センタ換気系給気ファン及び排気ファン，<u>原子炉建家付属棟廃棄物受けタンク室換気空調系給気ファン及び排気ファン</u>，活性炭式希ガス・ホールドアップ装置建家換気空調系給気ファン及び排気ファン，サイトバンカ建屋換気空調系給気ファンの台数は 1 台である。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) <u>放射線障害を防止するために必要な換気ができる状態であること</u></p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 2 表に示す。</p>	<p>・記載の適正化</p> <p>・記載の適正化（換気空調系の性能について，フィルタを含めた換気系としての性能に見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－11 6－12	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>b. 非常用電源設備</p> <p>使用済燃料を使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している間は使用済燃料の冷却が必要であり，安全確保上商用電源が喪失した際においても冷却を行う必要がある。また，商用電源を喪失した際においても作業者が廃止措置対象施設内から安全に避難できるよう非常用照明へ電源を供給する必要がある。このため，商用電源を喪失した際に使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）の冷却及び非常用照明へ電源を供給するために必要な「電源供給機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>非常用電源設備のうちディーゼル発電機については，廃止措置段階では，事故時等プラントを安全に停止するために必要な補機への電源を供給する必要はないこと及び貯蔵されている燃料は十分に冷えており，使用済燃料プールを緊急に冷却する必要はないことから，機能及び性能を維持するために必要な台数は 1 号，2 号，3 号及び 4 号炉共用で 2 台である。また，ディーゼル発電機が必要な場合においても時間的余裕があるため，自動起動機能と自動給電機能は維持しない。</p> <p>非常用電源設備のうちディーゼル発電機が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 性能維持施設（<u>使用済燃料の冷却のために必要な設備等</u>）へ電源を供給できる状態であること</p> <p>非常用電源設備のうち蓄電池については，廃止措置段階では，プラントが停止しているため，非常用油ポンプ等の非常用動力負荷等に電力を供給する必要はない。また，蓄電池から電源を供給する性能維持施設に多重性は必要ないため，機能及び性能を維持するために必要な台数は 1 組である。</p> <p>非常用電源設備のうち蓄電池が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 性能維持施設（<u>使用済燃料の冷却のために必要な設備等</u>）へ電源を供給できる状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 3 表に示す。</p>	<p>b. 非常用電源設備</p> <p>使用済燃料を使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）に貯蔵している間は使用済燃料の冷却が必要であり，安全確保上商用電源が喪失した際においても冷却を行う必要がある。また，商用電源を喪失した際においても作業者が廃止措置対象施設内から安全に避難できるよう非常用照明へ電源を供給する必要がある。このため，商用電源を喪失した際に使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）の冷却及び非常用照明へ電源を供給するために必要な「電源供給機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>非常用電源設備のうち非常用ディーゼル発電機については，廃止措置段階では，事故時等プラントを安全に停止するために必要な補機への電源を供給する必要はないこと及び貯蔵されている燃料は十分に冷えており，使用済燃料プールを緊急に冷却する必要はないことから，機能及び性能を維持するために必要な台数は 1 号，2 号，3 号及び 4 号炉共用で 2 台である。また，非常用ディーゼル発電機が必要な場合においても時間的余裕があるため，自動起動機能と自動給電機能は維持しない。</p> <p>非常用電源設備のうち非常用ディーゼル発電機が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 非常用高圧母線に接続している性能維持施設へ電源を供給できる状態であること</p> <p>非常用電源設備のうち蓄電池については，廃止措置段階では，プラントが停止しているため，非常用油ポンプ等の非常用動力負荷等に電力を供給する必要はない。また，蓄電池から電源を供給する性能維持施設に多重性は必要ないため，機能及び性能を維持するために必要な台数は 1 組である。</p> <p>非常用電源設備のうち蓄電池が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 直流電源母線に接続している性能維持施設へ電源を供給できる状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 3 表に示す。</p>	<p>・記載の適正化</p> <p>・記載の適正化（非常用ディーゼル発電機及び蓄電池の性能について，供給先を限定した記載を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－13	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能（つづき）	<p>c. 補機冷却系</p> <p>b. で記載したとおり，廃止措置の安全確保上，使用済燃料を冷却することが必要であるため，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）の冷却に必要な「補機冷却機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>廃止措置段階では，事故時等プラントを安全に停止するための補機を冷却する必要はないこと及び貯蔵されている使用済燃料は十分冷えていることから，多重性の要求はないため，機能及び性能を維持するために必要な系統数は 1 系統である。また，当該設備が必要な場合においても，時間的余裕があるため，原子炉補機冷却系第一中間ループ循環ポンプ及び第二中間ループ循環ポンプ，原子炉補機冷却系海水ポンプの自動起動機能は維持しない。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 性能維持施設 <u>（燃料プール冷却浄化系）</u> へ冷却水を供給できる状態であること</p> <p><u>(b) 性能維持施設（原子炉補機冷却系第一中間ループ）へ冷却水を供給できる状態であること</u></p> <p><u>(c) 性能維持施設（原子炉補機冷却系二次熱交換器）</u> へ海水を供給できる状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 4 表に示す。</p>	<p>c. 補機冷却系</p> <p>b. で記載したとおり，廃止措置の安全確保上，使用済燃料を冷却することが必要であるため，使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料プール）の冷却に必要な「補機冷却機能」を有する設備を維持対象とする。</p> <p>廃止措置段階では，事故時等プラントを安全に停止するための補機を冷却する必要はないこと及び貯蔵されている使用済燃料は十分冷えていることから，多重性の要求はないため，機能及び性能を維持するために必要な系統数は 1 系統である。また，当該設備が必要な場合においても，時間的余裕があるため，原子炉補機冷却系第一中間ループ循環ポンプ及び第二中間ループ循環ポンプ，原子炉補機冷却系海水ポンプの自動起動機能は維持しない。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに，その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>(a) 性能維持施設へ冷却水を供給できる状態であること</p> <p><u>(b) 性能維持施設</u>へ海水を供給できる状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6－1－1 4 表に示す。</p>	<p>・記載の適正化（補機冷却系の性能について，供給先を限定した記載を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－16	添付書類六 1. 性能維持施設に必要な機能及び性能 (つづき)	<p>(8) 消火装置</p> <p>廃止措置期間中も火気作業や可燃物を取り扱うため、「消火機能」を有する設備を維持対象とする。また、可燃性物質が保管される場所にあっては、火災が生ずることのないよう適切な防護措置を講じるため、火災防護のための措置を定め、実施する。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>a. 消火栓から放水できる状態であること</p> <p>b. <u>著しい漏えい又はその形跡がなく</u>，亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 1 6 表に示す。</p>	<p>(8) 消火装置</p> <p>廃止措置期間中も火気作業や可燃物を取り扱うため、「消火機能」を有する設備を維持対象とする。また、可燃性物質が保管される場所にあっては、火災が生ずることのないよう適切な防護措置を講じるため、火災防護のための措置を定め、実施する。</p> <p>当該性能維持施設が維持すべき機能ごとに、その性能を満たすために必要な仕様等は以下のとおりである。</p> <p>a. 消火栓から放水できる状態であること</p> <p>b. <u>内包する物質が漏えいするような</u>亀裂，変形等有意な欠陥がない状態であること</p> <p>上記機能及び性能を有する具体的な性能維持施設を第 6 － 1 － 1 6 表に示す。</p>	<p>・記載の適正化（消火装置の性能を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－17	添付書類六 2. 性能維持施設の維持すべき期間	<p>2. 性能維持施設の維持すべき期間</p> <p>(2) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>a. 核燃料物質取扱設備</p> <p>新燃料及び使用済燃料を取り扱うために必要な「燃料取扱機能」、「臨界防止機能」及び「燃料落下防止機能」並びにこれらの性能については、1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－2 表に示すとおりである。</p> <p>b. 核燃料物質貯蔵設備</p> <p>使用済燃料の貯蔵に必要な「臨界防止機能」、<u>「放射線遮蔽機能」、「水位監視機能」、「漏えい監視機能」</u>、「冷却浄化機能」及び「燃料プール水補給機能」並びにこれらの性能については、1 号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで維持</p> <p>する。</p> <p>また、新燃料の貯蔵に必要な「臨界防止機能」及び性能については、1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－3 表に示すとおりである。</p>	<p>2. 性能維持施設の維持すべき期間</p> <p>(2) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>a. 核燃料物質取扱設備</p> <p>新燃料及び使用済燃料を取り扱うために必要な「燃料取扱機能」、「臨界防止機能」及び「燃料落下防止機能」並びにこれらの性能については、1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p><u>使用済燃料を構内輸送するために必要な「臨界防止機能」、「除熱機能」、「密封機能」及び「放射線遮蔽機能」並びにこれらの性能については、使用済燃料の構内輸送が完了するまで維持する。</u></p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－2 表に示すとおりである。</p> <p>b. 核燃料物質貯蔵設備</p> <p>使用済燃料の貯蔵に必要な「臨界防止機能」， 「冷却浄化機能」及び 「燃料プール水補給機能」並びにこれらの性能については、1 号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了するまで維持し，<u>「放射線遮蔽機能」及び「水位及び漏えいの監視機能」並びにこれらの性能については、1 号炉に貯蔵している使用済燃料及び使用済制御棒の搬出が完了するまで維持</u>する。</p> <p>また、新燃料の貯蔵に必要な「臨界防止機能」及び性能については、1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－3 表に示すとおりである。</p>	<p>・核燃料物質取扱設備の機能，性能及び性能維持期間を追記</p> <p>・記載の適正化（核燃料物質貯蔵設備の性能維持期間を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－18	添付書類六 2. 性能維持施設 の維持すべき期間 (つづき)	<p>(3) 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>c. 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p>放射性固体廃棄物の廃棄のために必要な「放射性廃棄物処理機能」及び「<u>放射性廃棄物貯蔵機能</u>」並びにこれらの性能については、放射性固体廃棄物の処理が完了するまで維持する。</p> <p>ただし、固体廃棄物貯蔵庫の「放射性廃棄物貯蔵機能」及び性能については、貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－6 表に示すとおりである。</p>	<p>(3) 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>c. 固体廃棄物の廃棄設備</p> <p>放射性固体廃棄物の廃棄のために必要な「放射性廃棄物処理機能」及び性能については、放射性固体廃棄物の処理が完了するまで維持し、「<u>放射性廃棄物貯蔵機能</u>」及び性能については、<u>貯蔵している放射性固体廃棄物の取出しが完了するまで維持</u>する。</p> <p>ただし、固体廃棄物貯蔵庫の「放射性廃棄物貯蔵機能」及び性能については、貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで維持する。</p> <p><u>使用済制御棒等の構内輸送のために必要な「放射線遮蔽機能」及び性能については、使用済制御棒等の構内輸送が完了するまで維持する。</u></p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－6 表に示すとおりである。</p>	<p>・記載の適正化（固体廃棄物の廃棄設備の性能維持期間を見直し）</p> <p>・固体廃棄物の廃棄設備の機能，性能及び性能維持期間を追記</p>

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6－20	添付書類六 2. 性能維持施設 の維持すべき期間 (つづき)	<p>(5)解体中に必要なその他の施設</p> <p>a. 換気空調系</p> <p>管理区域内の空気を浄化し、換気する「換気機能」及び性能については、各建家の管理区域を解除するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－1 2 表に示すとおりである。</p> <p>b. 非常用電源設備</p> <p>商用電源喪失時に安全確保上必要なディーゼル発電機の「電源供給機能」及び性能については、使用済燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p>蓄電池の「電源供給機能」及び性能については、<u>1 号炉に貯蔵している使用済燃料の搬出が完了</u>するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－1 3 表に示すとおりである。</p>	<p>(5)解体中に必要なその他の施設</p> <p>a. 換気空調系</p> <p>管理区域内の空気を浄化し、換気する「換気機能」及び性能については、各建家の管理区域を解除するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－1 2 表に示すとおりである。</p> <p>b. 非常用電源設備</p> <p>商用電源喪失時に安全確保上必要な<u>非常用</u>ディーゼル発電機の「電源供給機能」及び性能については、使用済燃料の搬出が完了するまで維持する。</p> <p>蓄電池の「電源供給機能」及び性能については、<u>各建家の各エリアに設置されている設備の供用が終了</u>するまで維持する。</p> <p>上記機能及び性能を維持すべき期間は、第 6－1－1 3 表に示すとおりである。</p>	<p>・記載の適正化</p> <p>・記載の適正化（蓄電池の性能維持期間を見直し）</p>

頁	補正箇所	補正前				補正後				理由
6－23	添付書類六 第 6－1－2 表 核燃料物 質取扱設備に 係る性能維持 施設の維持す べき機能・維持 すべき期間									・核燃料物質取扱設備に 係る性能維持施設，機能 及び維持期間を追記
第 6－1－2 表 核燃料物質取扱設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
		燃料取扱機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内） キャスク除染装置（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		燃料取扱機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内） キャスク除染装置（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		
		臨界防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内）			臨界防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料の構内輸送が完了す るまで		
		燃料落下防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内）			燃料落下防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料の構内輸送が完了す るまで		
		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
		燃料取扱機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内） キャスク除染装置（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		燃料取扱機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内） キャスク除染装置（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		
		臨界防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内）			臨界防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料の構内輸送が完了す るまで		
		燃料落下防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		燃料落下防止機能	燃料取替機（1号炉原子炉建家原子炉棟内） 原子炉建家クレーン（1号炉原子炉建家原子炉棟内）	1号炉に貯蔵している新燃料及 び使用済燃料の搬出が完了する まで		
		除熱機能 密封機能 放射線遮蔽機能	使用済燃料輸送容器	使用済燃料の構内輸送が完了す るまで		除熱機能 密封機能 放射線遮蔽機能	使用済燃料輸送容器	使用済燃料の構内輸送が完了す るまで		

頁	補正箇所	補正前				補正後				理由
6－24	添付書類六 第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間									・記載の適正化（使用済燃料貯蔵設備の性能維持期間を見直し）
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
				燃料プール冷却浄化系 熱交換器				燃料プール冷却浄化系 熱交換器		
				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置				燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩装置		
				燃料プール冷却浄化系 ポンプ				燃料プール冷却浄化系 ポンプ		
復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）						復水貯蔵タンク（補給水ラインを含む。）				
第 6－1－3 表 核燃料物質貯蔵設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		機 能	設備（建家）名称	維持期間		
臨界防止機能	放射線遮蔽機能	水位及び漏えいの監視機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		臨界防止機能	新燃料貯蔵施設	1 号炉に貯蔵している新燃料の搬出が完了するまで		
				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで				1 号炉に貯蔵している新燃料及び使用済燃料の搬出が完了するまで		
冷却浄化機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		冷却浄化機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料貯蔵ラック		
				使用済燃料プール				使用済燃料プール		
				使用済燃料プール水位を監視する設備				使用済燃料プール水位を監視する設備		
燃料プール水補給機能			使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		燃料プール水補給機能	使用済燃料貯蔵設備（1 号炉原子炉建家原子炉棟内）	使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備		

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																																																			
6－26	添付書類六 第 6 － 1 － 6 表 固体廃棄物の廃棄設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間	<div>第 6 － 1 － 6 表 固体廃棄物の廃棄設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間</div> <table><tr><th>機 能</th><th>設 備（建家）名 称</th><th>維 持 期 間</th></tr><tr><td rowspan="9">放射性廃棄物貯蔵機能</td><td>使用済樹脂槽</td><td rowspan="9">放射性固体廃棄物の<u>処理</u>が完了するまで</td></tr><tr><td>原子炉冷却材浄化系沈降分離槽</td></tr><tr><td>原子炉冷却材浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>復水浄化系沈降分離槽</td></tr><tr><td>復水浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>濃縮廃液タンク</td></tr><tr><td>濃縮洗濯廃液タンク</td></tr><tr><td>サイトバンカ</td></tr><tr><td rowspan="4">放射性廃棄物処理機能</td><td>固体廃棄物貯蔵庫</td><td>貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで</td></tr><tr><td>固化装置</td><td rowspan="3">放射性固体廃棄物の処理が完了するまで</td></tr><tr><td>減容装置</td></tr><tr><td>乾燥装置</td></tr><tr><td colspan="3">雑固体廃棄物焼却設備</td></tr></table>	機 能	設 備（建家）名 称	維 持 期 間	放射性廃棄物貯蔵機能	使用済樹脂槽	放射性固体廃棄物の <u>処理</u> が完了するまで	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽	原子炉冷却材浄化系受けタンク	燃料プール冷却浄化系受けタンク	復水浄化系沈降分離槽	復水浄化系受けタンク	濃縮廃液タンク	濃縮洗濯廃液タンク	サイトバンカ	放射性廃棄物処理機能	固体廃棄物貯蔵庫	貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで	固化装置	放射性固体廃棄物の処理が完了するまで	減容装置	乾燥装置	雑固体廃棄物焼却設備			<div>第 6 － 1 － 6 表 固体廃棄物の廃棄設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間</div> <table><tr><th>機 能</th><th>設 備（建家）名 称</th><th>維 持 期 間</th></tr><tr><td rowspan="9">放射性廃棄物貯蔵機能</td><td>使用済樹脂槽</td><td rowspan="9"><u>貯蔵している</u>放射性固体廃棄物の<u>取出し</u>が完了するまで</td></tr><tr><td>原子炉冷却材浄化系沈降分離槽</td></tr><tr><td>原子炉冷却材浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>燃料プール冷却浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>復水浄化系沈降分離槽</td></tr><tr><td>復水浄化系受けタンク</td></tr><tr><td>濃縮廃液タンク</td></tr><tr><td>濃縮洗濯廃液タンク</td></tr><tr><td>サイトバンカ</td></tr><tr><td rowspan="4">放射性廃棄物処理機能</td><td>固体廃棄物貯蔵庫</td><td>貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで</td></tr><tr><td>固化装置</td><td rowspan="3">放射性固体廃棄物の処理が完了するまで</td></tr><tr><td>減容装置</td></tr><tr><td>乾燥装置</td></tr><tr><td colspan="3">雑固体廃棄物焼却設備</td></tr><tr><td><u>放射線遮蔽機能</u></td><td><u>固体廃棄物移送容器</u></td><td><u>使用済制御棒等の構内輸送が完了するまで</u></td></tr></table>	機 能	設 備（建家）名 称	維 持 期 間	放射性廃棄物貯蔵機能	使用済樹脂槽	<u>貯蔵している</u> 放射性固体廃棄物の <u>取出し</u> が完了するまで	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽	原子炉冷却材浄化系受けタンク	燃料プール冷却浄化系受けタンク	復水浄化系沈降分離槽	復水浄化系受けタンク	濃縮廃液タンク	濃縮洗濯廃液タンク	サイトバンカ	放射性廃棄物処理機能	固体廃棄物貯蔵庫	貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで	固化装置	放射性固体廃棄物の処理が完了するまで	減容装置	乾燥装置	雑固体廃棄物焼却設備			<u>放射線遮蔽機能</u>	<u>固体廃棄物移送容器</u>	<u>使用済制御棒等の構内輸送が完了するまで</u>	<div>・記載の適正化（固体廃棄物の廃棄設備の性能維持期間を見直し）</div> <div>・固体廃棄物の廃棄設備に係る性能維持施設，機能及び維持期間を追記</div>
機 能	設 備（建家）名 称	維 持 期 間																																																					
放射性廃棄物貯蔵機能	使用済樹脂槽	放射性固体廃棄物の <u>処理</u> が完了するまで																																																					
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽																																																						
	原子炉冷却材浄化系受けタンク																																																						
	燃料プール冷却浄化系受けタンク																																																						
	復水浄化系沈降分離槽																																																						
	復水浄化系受けタンク																																																						
	濃縮廃液タンク																																																						
	濃縮洗濯廃液タンク																																																						
	サイトバンカ																																																						
放射性廃棄物処理機能	固体廃棄物貯蔵庫	貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで																																																					
	固化装置	放射性固体廃棄物の処理が完了するまで																																																					
	減容装置																																																						
	乾燥装置																																																						
雑固体廃棄物焼却設備																																																							
機 能	設 備（建家）名 称	維 持 期 間																																																					
放射性廃棄物貯蔵機能	使用済樹脂槽	<u>貯蔵している</u> 放射性固体廃棄物の <u>取出し</u> が完了するまで																																																					
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽																																																						
	原子炉冷却材浄化系受けタンク																																																						
	燃料プール冷却浄化系受けタンク																																																						
	復水浄化系沈降分離槽																																																						
	復水浄化系受けタンク																																																						
	濃縮廃液タンク																																																						
	濃縮洗濯廃液タンク																																																						
	サイトバンカ																																																						
放射性廃棄物処理機能	固体廃棄物貯蔵庫	貯蔵している放射性固体廃棄物の廃棄が完了するまで																																																					
	固化装置	放射性固体廃棄物の処理が完了するまで																																																					
	減容装置																																																						
	乾燥装置																																																						
雑固体廃棄物焼却設備																																																							
<u>放射線遮蔽機能</u>	<u>固体廃棄物移送容器</u>	<u>使用済制御棒等の構内輸送が完了するまで</u>																																																					

福島第二原子力発電所 1 号炉 廃止措置計画認可申請書 補正前後比較表

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由																
6－31	添付書類六 第 6 － 1 － 1 3 表 非常用 電源設備に係 る性能維持施 設の維持すべ き機能・維持す べき期間	<div>第 6 － 1 － 1 3 表 非常用電源設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間</div> <table><tr><th>機 能</th><th>設備 (建家) 名称</th><th>維持期間</th></tr><tr><td rowspan="2">電源供給機能</td><td>ディーゼル発電機</td><td>使用済燃料の搬出が完了するま で</td></tr><tr><td>蓄電池 (所内用)</td><td>1号炉に貯蔵している使用済燃 料の搬出が完了するまで</td></tr></table>	機 能	設備 (建家) 名称	維持期間	電源供給機能	ディーゼル発電機	使用済燃料の搬出が完了するま で	蓄電池 (所内用)	1号炉に貯蔵している使用済燃 料の搬出が完了するまで	<div>第 6 － 1 － 1 3 表 非常用電源設備に係る性能維持施設の維持すべき機能・維持すべき期間</div> <table><tr><th>機 能</th><th>設備 (建家) 名称</th><th>維持期間</th></tr><tr><td rowspan="2">電源供給機能</td><td>非常用ディーゼル発電機</td><td>使用済燃料の搬出が完了するま で</td></tr><tr><td>蓄電池 (所内用)</td><td>各建家の各エリアに設置されて いる設備の供用が終了するまで</td></tr></table>	機 能	設備 (建家) 名称	維持期間	電源供給機能	非常用 ディーゼル発電機	使用済燃料の搬出が完了するま で	蓄電池 (所内用)	各建家の各エリアに設置されて いる設備の供用が終了するまで	・記載の適正化（蓄電池 の性能維持期間を見直 し）
機 能	設備 (建家) 名称	維持期間																		
電源供給機能	ディーゼル発電機	使用済燃料の搬出が完了するま で																		
	蓄電池 (所内用)	1号炉に貯蔵している使用済燃 料の搬出が完了するまで																		
機 能	設備 (建家) 名称	維持期間																		
電源供給機能	非常用 ディーゼル発電機	使用済燃料の搬出が完了するま で																		
	蓄電池 (所内用)	各建家の各エリアに設置されて いる設備の供用が終了するまで																		

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6 追補－ 11	添付書類六（追補） 2. 使用済燃料プール水大規模漏えい時の使用済燃料の健全性について	<p>2. 1. 3. 燃料被覆管表面温度の計算 c. 燃料被覆管表面温度計算</p> <p>管内層流における気体单相のNu数（熱流束一定）を，</p> $Nu = 4.36 = \frac{h_a d_{eh}}{k_a} \tag{15}$ <p>として，熱伝達係数h_aは，</p> $h_a = \frac{k_a}{d_{eh}} \times 4.36 \tag{16}$ <p>のように求められる。 燃料集合体 1 体の発熱量Q（W）から，</p> $\underline{q'' = \frac{Q}{L_h L}} \quad (\text{W/m}^2) \tag{17}$ <p>また，ピーキング係数の最大値をPFとして，</p> $\underline{q'' = q'' \times PF} \quad (\text{W/m}^2) \tag{18}$	<p>2. 1. 3. 燃料被覆管表面温度の計算 c. 燃料被覆管表面温度計算</p> <p>管内層流における気体单相のNu数（熱流束一定）を，</p> $Nu = 4.36 = \frac{h_a d_{eh}}{k_a} \tag{15}$ <p>として，熱伝達係数h_aは，</p> $h_a = \frac{k_a}{d_{eh}} \times 4.36 \tag{16}$ <p>のように求められる。 燃料集合体 1 体の発熱量Q（W）から，</p> $\underline{Q'' = \frac{Q}{L_h L}} \quad (\text{W/m}^2) \tag{17}$ <p>また，ピーキング係数の最大値をPFとして，</p> $\underline{q'' = Q'' \times PF} \quad (\text{W/m}^2) \tag{18}$	・記載の適正化

頁	補正箇所	補正前				補正後				理由			
6 追補－ 16	添付書類六（追補） 第 4 表 燃料健全性評価における主要な入力パラメータの値と根拠（2／2）	第 4 表 燃料健全性評価における主要な入力パラメータの値と根拠（2／2）				第 4 表 燃料健全性評価における主要な入力パラメータの値と根拠（2／2）				・記載の適正化（伝熱計算用流路面積の値の追加，熱の等価直径の値及び算出式を見直し）			
		計算手順	主要な入力パラメータ	値	根拠			計算手順	主要な入力パラメータ	値	根拠		
② 自然対流熱伝達の計算		燃料集合体 1 体の発熱量	Q	約 321 W	ORIGEN2. 2により崩壊熱を計算（令和2年2月1日時点）			② 自然対流熱伝達の計算	燃料集合体 1 体の発熱量	Q	約 321 W	ORIGEN2. 2により崩壊熱を計算（令和2年2月1日時点）	
		流路面積	A	<div></div>	チャンネルボックスに囲まれる面積－（燃料棒＋ <u>ウォーターチャンネル</u> ）に囲まれる面積				<u>摩擦損失計算用流路面積</u>	A	<div></div>	チャンネルボックスに囲まれる面積－（燃料棒＋ <u>ウォーター・ロッド</u> ）に囲まれる面積	
		流れの等価直径	d_{ef}	<div></div>	$d_{ef} = 4A/L_f$ (A と摩擦損失計算用濡れ縁長さ L_f より算出)				流れの等価直径	d_{ef}	<div></div>	$d_{ef} = 4A/L_f$ (A と摩擦損失計算用濡れ縁長さ L_f より算出)	
		局所圧力損失係数	ζ	<div></div>	単相での燃料集合体局所圧損係数（= k （下部タイプレート）＋ k （スペーサ）×7＋ k （上部タイプレート））を基に計算流路全体の局所圧損係数を設定				局所圧力損失係数	ζ	<div></div>	単相での燃料集合体局所圧損係数（= k （下部タイプレート）＋ k （スペーサ）×7＋ k （上部タイプレート））を基に計算流路全体の局所圧損係数を設定	
③ 燃料被覆管表面温度計算		熱の等価直径	d_{eh}	<div></div>	<u>$d_{eh} = 4A/L_h$</u> (<u>A</u> と伝熱計算用濡れ縁長さ L_h より算出)			③ 燃料被覆管表面温度計算	<u>伝熱計算用流路面積</u>	<u>A'</u>	<div></div>	<u>チャンネルボックスに囲まれる面積</u>	
		発熱長さ	L	<div></div>	燃料棒有効長を設定				熱の等価直径	d_{eh}	<div></div>	<u>$d_{eh} = 4A'/L_h$</u> (<u>A'</u> と伝熱計算用濡れ縁長さ L_h より算出)	
		ピーキング係数	PF	2.30	最大線出力密度と炉心平均線出力密度の比を設定				発熱長さ	L	<div></div>	燃料棒有効長を設定	
										ピーキング係数	PF	2.30	最大線出力密度と炉心平均線出力密度の比を設定

頁	補正箇所	補正前	補正後	理由
6 追補－ 27	添付書類六（追補） 4. 3. 使用 済 燃 料 プ ー ル か ら の ス カ イ シ ャ イ ン 線 に よ る 実 効 線 量 評 価 結 果	4. 3. 使用済燃料プールからのスカイシャイン線による実効線量評価結果 使用済燃料プールの使用済燃料の全放射能強度を考慮し，使用済燃料プールの冷却水が全て喪失した状態を想定して，スカイシャイン線による周辺公衆の実効線量を評価した結果，評価地点において約 42 μ Sv/h であり，保安規定に基づき整備している体制に従い使用済燃料プールに注水する等の措置を講じる時間を十分に確保できることから，周辺公衆への放射線被ばくの影響は小さい。	4. 3. 使用済燃料プールからのスカイシャイン線による実効線量評価結果 使用済燃料プールの使用済燃料の全放射能強度を考慮し，使用済燃料プールの冷却水が全て喪失した状態を想定して，スカイシャイン線による周辺公衆の実効線量を評価した結果，評価地点において約 42 μ Sv/h であり，保安規定に基づき整備している体制に従い使用済燃料プールに注水する等の措置を講じる時間を十分に確保できることから，周辺公衆への放射線被ばくの影響は小さい。 <u>また，スカイシャイン線に対する遮蔽効果を確認するため，原子炉建家の燃料取替床以上の部分の遮蔽効果を考慮せず評価した場合は約 140 μ Sv/h である。</u>	・原子炉建家の遮蔽効果を考慮しない場合の実効線量の評価結果を追記

頁	補正箇所	補正前			補正後			理由
6 追補－ 28	添付書類六 (追補) 第 1 表 線源強度の設定条件	第 1 表 線源強度の設定条件			第 1 表 線源強度の設定条件			・ 記載の適正化
		使用済燃料	仕様	9 × 9 燃料	使用済燃料	仕様	9 × 9 燃料	
			燃焼条件	55GWd/t		燃焼条件	55GWd/t	
			冷却期間	約 9 年		冷却期間	約 9 年	
			貯蔵体数	2, 334 体		貯蔵体数	2, 334 体	
		使用済制御棒 (<u>ボロン・カーバイド型</u>)	照射条件	1. 5 snvt	使用済制御棒 (<u>ボロン・カーバイド型</u>)	照射条件	1. 5 snvt	
			冷却期間	約 9 ～30 年		冷却期間	約 9 ～30 年	
			貯蔵体数	36 体		貯蔵体数	36 体	
		使用済制御棒 (ハフニウム型)	照射条件	5. 5 snvt	使用済制御棒 (ハフニウム型)	照射条件	5. 5 snvt	
			冷却期間	10～30 年		冷却期間	10～30 年	
			貯蔵体数	64 体		貯蔵体数	64 体	

頁	補正箇所	補正前		補正後		理由
6 追補－ 29	添付書類六（追補） 第 2 表 スカイシャイン線の評価条件	第 2 表 スカイシャイン線の評価条件		第 2 表 スカイシャイン線の評価条件		・記載の適正化
		遮蔽材	原子炉建家：コンクリート（天井及び燃料取替床以上の側壁は軽量コンクリート） 地面：コンクリート（ γ 線の地表面からの反射・吸収を考慮する） 使用済燃料：二酸化ウラン，ジルカロイ（被覆管，チャンネルボックス） 使用済制御棒： <u>ボロン・カーバイト</u> ，ハフニウム，ステンレス鋼 その他：空気	遮蔽材	原子炉建家：コンクリート（天井及び燃料取替床以上の側壁は軽量コンクリート） 地面：コンクリート（ <u>0.P. 0mより下の部分とし</u> ， γ 線の地表面からの反射・吸収を考慮する） 使用済燃料：二酸化ウラン，ジルカロイ（被覆管，チャンネルボックス） 使用済制御棒： <u>ボロン・カーバイド</u> ，ハフニウム，ステンレス鋼 その他：空気	
		検出器	ポイントディテクタエスティメータ（評価地点高さ＋1.5m）	検出器	ポイントディテクタエスティメータ（評価地点高さ＋1.5m）	
		ライブラリ	MCPLIB84	ライブラリ	MCPLIB84	
		γ 線束－線量換算係数	ICRP Pub. 74	γ 線束－線量換算係数	ICRP Pub. 74	
		γ 線輸送の物理モデル	ボルツマン方程式	γ 線輸送の物理モデル	ボルツマン方程式	
		γ 線の輸送下限	1 keV	γ 線の輸送下限	1 keV	
		γ 線発生数	2 千万個以上	γ 線発生数	2 千万個以上	
		分散低減法	Weight window 法	分散低減法	Weight window 法	
		計算収束方法	Weight window parameter 評価のためのメッシュを適切に設定し誤差を低減	計算収束方法	Weight window parameter 評価のためのメッシュを適切に設定し誤差を低減	
		判定基準	評価結果の統計誤差（1 σ ）が 5 %未満で， <u>収束に関する警告数の少ない</u> 計算結果を選定	判定基準	評価結果の統計誤差（1 σ ）が 5 %未満で <u>あることに加え，単調減少及び$1/\sqrt{N}$減少などの収束に関する警告の内容を総合的に勘案して</u> 計算結果を選定	
				<u>評価範囲</u>	<u>原子炉建家中心の 0.P. 0m を中心とした半径 5 km の球形の範囲</u>	